京城日報
THE KEIJO NIPPO
大正九年五月十四日（金曜日） 第四千五百二十六號 （一）

## 厨屋の籠　艇打生

### 十五億弗の傳道寄附金

基督教世界大傳道の爲めに米國の耶蘇教徒が募りたるに、十五億三千七百萬弗と云ふ大金が集まつた。之は去る四日新夫人と共に米國より歸られたる監督ハリス博士の、新聞記者に語られた所、流石に世界大戰中大儲けをしたる大成金國だけありて、其の精神界の運動に投ずる額もエライものである。語を寄す米國の傳道本部よ、朝鮮人に基督の福音を傳へんと欲せば、先づ牧師其のもの、人物を選べ。一人の獻身的大宗教家は、百の職業的凡俗宣教師に比して、其の感化を及ぼすの力に於て優ること萬々なるべし。

### 京城電車の特色

不潔、惡臭、無作法、不親切、是れが京城に於ける電車の特色である。加ふるに近頃は、運轉車輛の多からぬ爲めなるか、其の發着及び停留場を通過する前の電車と次の電車との時間が長くかゝり且つ定まらぬ。余は鍾路や黄金町などの乘換場にて、二十分餘りも雨中又は砂塵の中に立たせらるゝことが決して稀ではない。斯くも不便と不快と不都合とが備へば、京城電車は、やがて朝鮮名物の禿山や蠅の多きことなどと同じく其の一つに數へられるであらう。我等朝鮮に在る者の大いに誇とする所である。茲に一言して電氣會社の諸君に敬意を表する。

## 太宰府に遊びて（一）

余が太宰府の地に遊んだのは、今年の一月六日であつた。前夜は武藏温泉といふ田舍の中の田舍温泉宿に泊ッた。早起浴舍を發して、二日市驛に出で、其處から太宰府に到りて都府樓址、觀世音寺等を見物して、天滿宮に參詣した。路程は彼是二三里もあつたらう。二日市より太宰府までは狹い軌道が敷かれて、小さな穢い汽車が往復して居るが、余は態と汽車や人力車に乘らなかつた。九州とはいへど、一月初の事なれば、空吹く風も尚ほ寒く、路行く足は殘んの雪に惱んだ。されど此の邊一面の地が如何にも史蹟といふやうな氣分のする處で、東は四王寺山が屏風の如くに聳え、南と北に低い丘陵が起伏し、西は一帶の平野が開けて居る。そして彼方には菅原道眞が登ツて、自分の寃罪を天に訴へたといふ、アダラカな形の天拜山が高く聳えて、その平たい頂には一株の大きな松さへも鮮明に見られる。今を去る一千十九年、延喜元年正月廿五日、道眞は、何の犯した罪も無いのに、右大臣の官を褫はれ、二十三人の子供も取り〳〵ばら〳〵、稍老境に入つた身を以て、遠く筑紫の果なる此の地に流された。當時の公の境遇を思ひ遣りなどして、雪解の泥濘をたどるの勞を忘れた。道眞は儒林の出身、藤原氏は鎌足の大功を立ててより二百五十年、一門の勢力を扶植し、威權赫々たる藤原氏の嫡流時平と權を爭ふの危險なるを知らないことはなかつた。されば時平の左大臣に、自分の右大臣に任ぜられて、兩々相對して昇進するや、公は上表して三たび之を辭した。されど叡慮にして藩權の恢復に志しある宇多法皇は、之を許し給はなかつた。蓋し當時學徳兼ね備はりて人望ある道眞を重用して藤原氏を抑へんとの叡慮に依るのであつた。道眞は忠誠無二の人、法皇の知遇に感じ一身を挺して帝權の復興に任じ、事の成否と身の安危とを顧みるに遑なかつたのであらう。其の志、誠に悲しむべきである。時平は稀世の人、才幹器量亦尋常にあらず、藤原氏の一大事を見て默過する筈はない。源光、藤原定國、藤原菅根等と相結び、力を協せて道眞を排陷せんことを圖つた。既にして時平等に奏して曰へるやう、道眞は今上（醍醐天皇）を廢し奉りて、皇弟齊世親王を立てんと謀れり。親王は道眞が婿におはしませば、天皇も、御齡まだ十六の御事とて、深き叡慮もなかりけるにや、道眞を大臣大將の高官から、太宰權帥に左遷し給うた。權帥とは名ばかりの官にて、實は太宰府に流したのであつた。道眞自ら明すに道なく、一首の和歌を以て法皇に哀訴し奉ッた。『流れ行く我は水屑となりぬとも君柵となりて止めよ』法皇は愍いて御涙に咽び給ひ、大皇に見えて自ら申敢せんとて御乘り物にも召さず、急ぎ清涼殿に幸し給うたが、菅根等が宮門を鎖して入れ奉らざりければ、恨を呑みて空しく還御し給うた。斯くて道眞が子女の內、男子四人は四處に分ち流され、長女は都に留めて、少男少女のみ配所に伴なふことを許された。道眞今はと住みなれし紅梅殿を出づる時、

東風吹かば匂おこせよ梅の花
主なしとて春な忘れそ

途中より邸なる夫人の許に、『君が住む宿の梢の行く〳〵も隱るゝ迄にかへり見しはや』と贈り、太宰府に着きてよりは、謹愼して門を出です、

一從謫落就柴荊。萬死兢々跼蹐情。
都府樓纔看瓦色。觀音寺唯聽鐘聲。
中懷好逐孤雲去。外物相逢滿月迎。
此地雖身無檢繫。何爲寸歩出門行。

と詠じた。九月十三夜、月影淸く、蟲の音凉しい配所の秋に、去年淸涼殿の內宴に侍して『富ニ春秋臣漸ク老ユ、恩無涯報ユルコト猶遲シ』と賦して叡感にあづかり、御衣を賜はりしことを思ひ出して、

去年今夜侍淸涼。秋思詩篇獨斷腸。
恩賜御衣今在此。捧持毎日拜餘香。

と口吟せられた。曾て九重宮中の上に見た月を、今は配所の月と眺められた公の心中は如何であッたらう。斯かる逆境の中にありても、猶君恩を感じ、昔を偲ぶのみにて、曾て一語も君の不明を恨み、讒者の奸譎を怒らなかッた公の心は光風霽月、何等一點の疚しい所が無い。『海ならでたゞよふ水の底までも淸き心は月ぞ照らさん』如何にも淸朗明徹、仰いで天の照覽を願うたのである。但一たび都の親しい人々の上に及んでは、堪へ難い悲哀の念も湧いたであらう。何日かは恩免の日あらんことを期した。『山わかれ飛び行く雲の歸りくる影見る時ぞ猶頼まるゝ』然るに其の甲斐もなく、延喜三年二月二十五日配所に薨じた、年五十九。太宰府の安樂寺に葬り、菅廟又は聖廟と稱したが、今は太宰府神社と號し、官幣中社に列せらる。余は獨り斯んな事を考へつゝ、いつとはなしに都府樓の址に來た。

## 神仙爐　劍花坊

### 足利學校と金澤文庫（二）

入草紙に應仁元年長尾景春が舊籍を存する爲に今の所に移す、とあるから、永享中の上杉憲實が、釋奠の禮を行うた時は、他の要所に有つたものか、ともかく上杉家と其老臣の長尾家が、ヤハリこの學校を保護した殊勳者だ、憲實は主人の持氏を殺したので評判が悪いけれど、學問は好きで有つた。景春は謙信の父で、これも随分評判は悪い人間だが、勇氣も有り文學も好んだらしい、謙信が文學を好むのも爲景の血を享けたのだらう、慶長年中に至つて、徳川家康がいよ〳〵石田三成を關ヶ原に破り、天下の主にならうとした時、采地を與へ、活字十餘萬を賜うて孔子家語を刷印させ、次は周易、貞觀政要、七書、東鑑などを刷印させた。これを慶長本といふ、足利本とも いふ。

## 妻となりて　布施生譯

（一九十）

自分に頼むのみ頼つたと聞かされて雅子は些からず氣を痛めた、なまじつか自分に財産が出來た爲に兄との間が離れたやうにも思はれる、昔は疎々しかつた兄と自分との間柄は近頃になつて殊に結婚前後になつて新しく强い絆に結ばれた心地がした。一生に一度の嫁入と云ふ樂しい中にも雅子は一度ならず兄侯爵の爲に何かしてあげたいと思つてゐた。其度毎に夫に話をして金錢上の助けは兎に角先づ第一に夫と兄とを昵懇させて置きたいと思ひ付いた、夫の人物を知り拔いて居る事とて一旦昵懇が出來た上は自然兄に都合惡くは運ぶまいと考へたが、例の椿事でそんな打明話をするところでは無くなつた、今になつて見るとあんな殘念な事は無い。餘り長い間雅子が默つて居るので九郎は不安な面色をして雅子の方を偸み見た、九郎には雅子の心の中が分る由も無い、たつた今貴女がもう僕の手に還る目的が無くなつたなど、舌たらい口說き文句を使つたものゝ、實はまだ何時でも自分の一言で雅子を踊かせるのは雜作の無い事だと自惚てゐたのであつた、それが今の樣子で見ると雅子はもう全く永久自分の手に還りつこは無いらしい、九郎は顏を潰されたやうに思つて俄に怒が湧いて出た、そして頸を垂れて伏目になつてゐる雅子の頭の上から鋭い聲を浴びせかけた『おい雅ちやん如何するつもりだい』雅子は愕然として頭を擧げた。が、『さあ』と言つたばかり、酷く困惑の體を示した。九郎は唇を嚙んで眼には怒を湛へたまゝ言葉もなく立つてゐた、從來向の雅子位と輕く多寡を括つて居たのに加へて侯爵小披子の關係と自分に都合の好いやうに作りかへた借金手形の話とは雅子から金を絞り取る又とない材料だと思つてゐた。處が今になつてみると雅子が案外確固してゐる、假令金は出すにしてもそれを直接自分の手には渡さずに兄侯爵に手渡しをしやうと言ひかねない、何だか風向が心配になつてきた。

『愚圖ついては駄目ですぜ、時機を失つたら兄樣はどうなると思ひます、僞造と謂へば一寸やそつとの罪ぢやあ無い、檢擧されたら――』『檢擧ですつて』雅子は鋭く聞返した『檢擧さ、檢擧される外は無いね、尤も今日から二日の內に借金を返して仕舞へば又格別だがね、で兄樣は一生懸命金策に奔走されたのさ、でも出來やしないやね何處にも取附く島が無いと云つた譯合でね、雅さん貴女自分はお金がうんと出來ながら兄樣をそんな端目に遇はしちやあ餘り義理が悪からうぜ、ねゝ餘りな人情だ、あれんばかりの端下金でさ』雅子は兩手で顏を抑へた

## 博多より　大村生

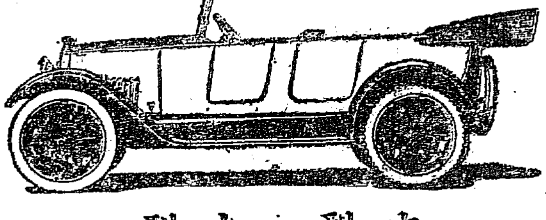
七日夜博多一泊終夜悉打つ風の烈しさに屢々夢を破られ今朝雨を衝いて博多を視る能はず、已に所々剝落して觀覽の人も極めて稀なり（五月八日）

## 朝鮮川柳發表　劍花坊選

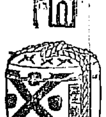
○赤毛布扇根に干したる蕃婦　大邱　不知坊
○山靜かにして太古の家二三軒　京城　雄々坊
○其の子女を鼻烟管で敎へてる　大邱　花坊
○平然と便壺を据える枕元　京城　眠翁
○温突を見て朝鮮が略ぼ分り　龍山　梨春
○この良夜を温突に上氣して
犬が踞る正一品の石のそば

### 詠史川柳を募る

朝鮮川柳は多數の投句を得て感謝します、只た選に苦しんだ爲め、非常に延引になつたのを謝します。この次は詠史の川柳です、これは朝鮮には限りません、日本歴史でも、支那歴史でも、西洋歴史でも、自由に題にして構ひません、東京市芝區三田四國町二番地井上劍花坊宛直接に投吟を願ひます、入賞には劍花坊肉筆の色紙を差上げます、例句は
武內お孫様かも疑きかれ（日本）
桃園に手織むしろを敷き並べ（支那）
ナポレオン、チツクで分かた元祖なり（西洋）
注意　投句者は必ず住所姓名を記の事
青島郭姫忠恣坊三氏に告ぐ　住所姓名至急『京城日報社朝鮮川柳係宛』通知されたし


最新刊
小資本運用法
最も少なき資金を以て最も短日月に最も有利に最も安全に最も合理的に最も時勢に順應せる利殖法は唯本書あるのみである即ち本書運用法は空理空論は一切抜きとして悉く實驗の宅に一般運用の利殖法を懇切に說き示せるから本業副業の用に在である經濟界未曾有の戰亂時期に際し敢て急速に利殖增進の一大捷徑として提供せる所以也
福田壽一氏著　金壹圓參拾錢 郵送料金六錢
發行所 東京本郷區元町 振替五七八〇番 中央出版社

灘の高橋生一本松竹梅酒
宮內省御用達 陸海軍御用
比類なき純味は常に貴顯の御用を辱ふしつゝあり


毛皮の始末
高價なる毛皮や毛織類のお始末は如何!!
鳩居堂の防虫香が最も忠實なお役を致します
廿五袋入　壹圓廿五錢
五十五袋入　貳圓五拾錢
百十袋入　五圓
內地送料拾貳錢
日參御報次第呈送
京都寺町　熊谷鳩居堂　電話上一一〇 振替大阪六六

朝鮮銀行
資本金　四千萬圓（全額拂込濟）
積立金　五百五拾八萬圓
預金、貸出、割引、海外諸爲替、地金銀ノ賣買其他一般銀行業務並朝鮮國債及浦潮斯德ニ於テ金庫事務ヲ取扱申候
總裁　美濃部俊吉
支店出張所　內地 東京 大阪 神戸 下關　朝鮮 釜山 京城 仁川 平壤 鎭南浦 元山 群山 木浦 大邱 會寧 羅南　滿洲 大連 奉天 長春 哈爾賓 ...　支那 上海 青島 天津 濟南　露領 浦潮斯德 ...
右ノ外倫敦、紐育、巴里其他內外樞要ノ地ニ爲替取引先有之候

告示
仁川學校組合告示第四號
大正九年五月廿一日當仁川學校組合會議員ノ總選擧ヲ行フ其ノ選擧スヘキ議員ノ數左ノ如シ
大正九年五月十四日
仁川府尹　吉松憲郎
一、選擧會場　仁川學校組合
一、投票ノ日時　大正九年五月二十一日午前九時ヨリ午後五時マテ
一、選擧スヘキ議員數　拾四名

公債株式現物問屋
岩城現物部
京城府南米倉町
電話八四〇一一番（又は一〇一八）

最新刊
朝鮮職員錄　一、二〇〇
提唱碧巖集下
小學校敎育改造論
朝鮮司法警察執務提要
現實生活の基本
我等の希念す可き士數
有利なる是からの企業
英國の王室及議會
京城本町一丁目　大阪屋號書店

京城本町三　村木時計店
電話長四七一 振替京三三九〇

商業登記
株式會社朝鮮商業銀行支店設置
右大正九年五月拾日左ノ所ニ支店ヲ設置ス
咸鏡北道會寧郡會寧面二洞貳百參番地
右大正九年五月拾壹日登記
海州地方法院沙里院出張所

京日案內

募集　看護婦見習生若干名　仁川仲町　佐藤病院

內勤社員採用　希望者ハ履歴書持參來社アレ　長谷川町　帝國公債會社

外勤社員招聘　固定給及歩合支給本人來談　京城若草町　郵便ポスト前　西村商會

社員數名募集　日本人ニ限る希望者は履歴書携帶本人來談　驛前　通運會社

古本高價買入　群書堂

金融月賦貸付　...

年金恩給　...　江州屋本店

蜜蜂分讓　森養蜂園

店員入用　龜屋雜貨店

ピアノ　オルガン　杉野樂器店

職人及店員募集　...

監督に社員招聘　...

女中入用　帝國公債會社


## 商業登記公告

株式會社朝鮮第一銀行取締役杉田宮谷... 大正九年四月貳拾四日登記 ...

[illegible]

京城地方法院

商業登記公告　京城地方法院水原支廳

法人登記公告　京城地方法院仁川支廳

商業登記公告　京城地方法院長湍出張所

法人登記　京城地方法院漣川出張所

法人登記公告　京城地方法院鐵原支廳

金融組合登記公告　京城地方法院仁川支廳

商業登記公告　京城地方法院平澤出張所

法人登記公告　京城地方法院春川支廳

法人登記　京城地方法院金浦出張所

商業登記公告　京城地方法院鐵原支廳

法人記登公告　京城地方法院利川出張所

法人登記公告　京城地方法院驪州出張所

# 議員當選者(續報)

=東京特電=

×印は朝鮮に關係を有せし者
○印は朝鮮在住者

**大阪府**
第六區 吉川吉郎兵衞(憲新)
同 木村權右衞門(中新)
第七區 植場 平(政元)
同 佐竹 庄七(中新)
第八區 岩崎幸次郎(政元)
第九區 田中 萬逸(憲前)
第十區 南 鼎三(中新)
第十一區 井坂 豐光(政新)

**佐賀縣**
第四區 南里 琢一(政前)
同 井原喜代太郎(憲前)

**福岡縣**
第九區 中村 寅造(政新)
第十一區 小林 與六(政新)
第十三區 吉原 正隆(政前)
第十四區 江崎幸太郎(政新)
第十六區 崎山 克二(政新)

**大分縣**
第一區 金光 庸夫(政新)

**長崎縣**
第三區 横山寅一郎(政元)
第四區 橋本 喜造(憲前)
第六區○牧山 耕藏(政前)

**岡山縣**
第七區 向井 倭雄(政新)
第三區○佐々木志賀二(政新)

**兵庫縣**
第六區 ×井上 雅二(政新)
第十區 江上 武雄(憲新)
第十三區 鎌田三郎兵衞(中新)

**奈良縣**
第一區 磯田粂三郎(政新)

**愛知縣**
第二區 大口 喜六(國前)
第三區 手島 鍬司(憲新)

**岐阜縣**
第九區 牧野 良三(政新)

**香川縣**
第二區 三谷 清之(政新)

**島根縣**
第一區 佐野 政雄(政新)

**富山縣**
第三區 香川 保忠(憲新)
第五區 上埜安太郎(政前)
第六區 廣瀬 讓之(政前)

**千葉縣**
第一區 中山 佐市(政新)
第四區 鶴澤 宇八(憲前)

**茨城縣**
第二區 谷津 新八郎(政新)
第三區 根本 正(政前)
第六區 市村 貞造(政新)

**栃木縣**
第四區 田村 順之助(政前)
同 波多野承五郎(政元)

**長野縣**
第五區 松岡 俊三(政新)

**青森縣**
第五區 春日 俊文(憲新)

**新潟縣**
第三區 宇野 勇作(政新)
第四區 川邊 熊一(政前)
第九區 牧口 義矩(憲前)
第十三區 山本悌二郎(政前)

## 追報

其の後判明せし分左の如し(東京特電)

**山口縣**
第三區 ×阪上 貞信(政新)

**大分縣**
第三區 木下 謙次郎(政前)
第五區 一宮 房次郎(政前)
第六區 元田 肇(政前)
第七區 松田 源治(政前)
同 重松 重治(憲新)

**福岡縣**
第十二區×野田 卯太郎(政前)
第十五區 富安 保太郎(政元)
第十七區 藏內 次郎作(政前)

**兵庫縣**
第十一區○松山 常次郎(政新)

**巖手縣**
第二區 鈴木 巖(政元)

**北海道**
第五區 廣瀬 爲久(政新)
第六區 岡田伊太郎(政新)
第七區 松實喜代太(政新)
同 伊藤 廣幾(政新)
第八區 東 武(政前)
第十區 栗林 五朔(政新)
第八區 大久保虎吉(政新)
第十二區 平出喜三郎(憲元)

**神奈川縣**
同 中西六三郎(政前)
第三區 小野 重行(憲新)
第五區 吉野小一郎(政新)
第四區 福本清之輔(憲新)
第五區 出口 直吉(憲新)

**群馬縣**
第四區 木暮 八郎(政新)
同 今泉嘉一郎(政新)
第六區 齋藤 壽雄(政前)

**埼玉縣**
第六區 腰野周一郎(政元)

**富山縣**
第五區 野村 嘉六(憲前)

## 條約批准提議

大統領選擧の問題と爲すべく

大統領ウイルソン氏は對獨講和條約批准問題を大統領選擧の重要なる問題となすべく提議せり諸政客の解釋に依ればウイルソン氏がオレゴン洲民主黨員に送りたる書面は大統領が大統領選擧前に講和條約を再び上院に送付せざることを示すものなり(華盛頓電報)

## 伊紙 條約調印反對

伊太利よりの來電に依れば諸新聞は講和調印に反對しつゝあり內閣は多分更迭すべし(巴里電報)

## 英首相 同盟繼續意見

駐英支那公使よりの電告

駐英公使施肇基氏より日英同盟の繼續には二大政黨反對し居れるも首相ロイドヂヨージ氏は日英間多年の關係上之を中絶せず修正して繼續するを可とするの意見を有せり 同公使は政府の訓令に依り該條約中に支那の領土保全云々の事項が挿入せざる樣英國外相に通告せりと政府に電告し來れり(北京電報)

## 米對墨政策考慮

墨西哥市陷落し大統領カランザ氏俘虜となりたりとの報あるに就き米國務省は墨西哥に對し新政策を執るべく考慮中なるが米國は目下墨西哥に於ける何れの黨派をも承認せざる可しと 尚驅逐艦四隻墨國に急航せり(華盛頓電報)

## 革軍陳述書發表

墨革命軍は墨都外交團に對して陳述書を發表し革命派はカランザ將軍に要求するに革命軍と戰はざらんことを以てせりと(エルパソ電報)

## 墨大統領脫出

カランザ大統領はメキシコ市を脫出して、ヴエラクルーズルに向へり又メキシコ市民は革命軍政府を援助すべき形勢あり(桑港電報)

## 政治犯人射殺

テキサス州エルパソ來電=墨西哥よりの報道に依ればブルジヤ將軍は出發し政治犯人を射殺したり(華盛頓電報)

## 米艦墨國へ出發

六隻の驅逐艦は墨國タンピコに向つてキエフを發したるが他の二隻も近く出發すべし(華盛頓電報)

## 英下院 對首相反對

## 勞農對波戰遂行

露國の戰機急を告げ新に勞農軍隊を增遣するに當り五月五日莫斯科市劇場前の廣場に於て盛大なる行列式擧行されたるが職工同盟の出發に際し莫斯科勞農代表委員、工場代表委員及び全露中央執行委員の聯合大會開催せられレニンの演說あり滿場一致にて對波蘭戰を飽迄遂行する事に就き決議文を作成せり(莫斯科電報)

## 日本對過激講和

軍隊撤退準備發表

在米日本大使館は日本は西伯利に於て過激派と講和の交渉を開始し出征軍隊を全部撤退すべく準備中なりと發表せり(華盛頓電報)

## 休戰實行を誓ふ

過激隊長白旗を翳して

日露休戰委員は十日ニコリスクを發し烏蘇里線を哈爾賓に向ひイポリトフカに至するやアヌチノの過激派隊長ネアヒシエンコは部下二名を伴ない白旗を翳して來り露國委員は彼れに休戰撤退を命じ更に日本委員に紹介され原田中尉に對し彼れは協約實行を誓へり一行は十一日更に北進しスパスカヤに入れり(ニコリスク電報)

## 露國產業狀態

日本に對し特權を承認すべし

ミリユーチン氏は國民經濟外交會に於て露國の產業狀態に就て述べて曰く今日迄の內亂狀態に於ては全露の事業は軍事的の目的の爲に動員せられたるものなりしが吾人が一度勝利を獲得して以來今や經濟政策の改造期に入りつゝあり殆ど全部の產業は國行となり既に百九十七個の聯盟組合組織せられたり斯くて將來に電力を應用して極度に我生產力の增加を期圖しつゝあり從來の露國の現狀は原料及び勞力缺乏の爲め大打擊を感じつゝありしがロシ河流域を回復し且つ高加索地方よりデニキンの徒一掃せられたるが爲め現今に於ては多量の石炭並に重油續々として工業中心地方に輸送せられ日一日生產を增加しつゝあり且つ新に組織せられたる勞働軍隊は勞力缺乏の問題をも解決したり吾人は目下各種の機械類を必要とす露國には現在多量の亞麻其他を蓄積しあれば是等の原料品を以て機械類と交換せんと欲す尚第一に露國に缺乏しつゝあるは醫藥品なる旨を語り且つ醫藥の外にも各種の日本製品を歡迎する旨を語れり而して之が代償として露國は西伯利に於て日本に對し種々の特權を承認すべく又同地方の勞働力を日本の使用に委すべき旨を述べたり(莫斯科電報)

## 陸戰隊出動命令

…得べしと(トレント電報)

## 造船計畫進捗

八六艦隊完成期

造艦計畫遲延に就き我海軍當局にては甚だ苦心中なりしが財界の反動期に入りて工事遲延の主なる原因なりし造船職工の移動も漸次減退すべく且つ戰時中輸入困難なりし造船材料の如きも最近輸入緩和せられたる感あるを以て造艦計畫は最初の通り進捗し得ることゝなり各工廠をして工事の進捗を圖らしめつゝあり其結果八年度中に竣功せしむる豫定なりし戰艦長門、陸奧の如き九年度には進水の運びに至るべく又十一年度初めに至らざれば竣功せざる狀態なりしものも特に九年度中に竣功せしめ得るの見込立ち未だ工事に着手し得ざりしものも九、十兩年度の工事に着手し得べきを以て當初計畫の如く十二年度の末迄に(遲延するも十三年度初迄に)八六艦隊の完成を見るべき豫定なりと(東京電報)

## 回答猶豫と有力口實

北京政府は十一日午後國務院秘書を日本公使館に派遣し目下內閣改造中なるを以て山東問題に關する回答は新內閣成立迄猶豫されん度と非公式に通告せり(北京電報)

## 別報

陳籙氏は十一日午前小幡公使を訪問し山東問題より支那の事情に就て談話を交換せり支那側の傳ふるが如く非公式に我公使に對し內閣改造の爲に日本に發すべき回答は次期內閣成立迄決定する能はずと通告せり云々との說は全く想像なり(北京電報)

## 結局周內閣か

徐總統は十日周樹模氏を招致し後繼內閣を組織す可く慫慂したるに周氏は新內閣の失敗に鑑み段祺瑞氏と商議の上組織すべしと承諾の旨を答へたり茲に於て徐總統は周內閣案の國會通過迄內務總長田文烈氏に代理總理たらん事を勸告せしも田氏は之れ迄再び總理たらずと言明せる關係上遂に總統は薩鎮冰氏を推薦したるに氏は拒絕せるより十一日の閣議にて靳氏も列席決議せるも何等決定を見ざりしが兩三日中には田薩兩氏の中何れかに決定し同時に靳總理の辭職を許さる可しと(北京電報)

## 薩氏代理承諾

薩鎮冰氏は暫時代理總理たる事を承諾せり(北京電報)

## 靳氏留任勸告拒絕

張作霖氏より留任電報を寄せ來りたるに對し靳雲鵬氏は其厚意は感謝するも內外多端の際不眠症にて重任に堪へざる故辭職せりと返電せり(北京電報)

## 靳總理病氣保養

靳雲鵬氏は病氣保養の爲め十三日湯山に赴くべし(北京電報)

## 廈門人心險惡

近時廈門には『無政府淺說』と題する小印刷物を配布し過激無政府主義を宣傳するもの現出し之れに共鳴する者尠からざるを以て廈門警察廳及び知縣は之れが取締を嚴重に勵行中なるが右は上海方面より移入せられたるは云ふ迄もなく一般に當地附近の人心は險惡となれり(廈門電報)

## 日本資本家加入賛否質問

黑龍江選出議員等は齊黑鐵道建設に日本の資本家を加入するの賛否に就き質問書を提出せり(北京電報)

## 皇族會議開催

過日元老會議に際し 陛下より御諮詢あらせられたる皇族令に關する重大事項に關し來る十五日午前十時より宮中にて皇族會議開催さるゝ事となりたるが當日は議長たる伏見宮殿下を始め各皇族殿下御參列の由(東京特電)

## 樞府會議內容

既報の如く十二日午前十時三十分より宮中東溜間に於て樞密院會議を開き清浦副議長以下各顧問官其の他關係諸官列席御諮詢案左の如し(東京電報)

一、內閣所屬職員官制中改正の件
一、國勢院官制
一、各省官制通則中改正の件
一、鐵道省官制
一、鐵道院職員特別任用令
一、文官任用令中改正の件
一、大正二年八月勅令第二百二十六號中改正の件(任用分限、又は官等俸給陞敍の規定を適用せざる文官に關する件中改正の件)

伊東精查委員長より一時間に亙り文官任用令、鐵道省官制、國勢院官制に就て委員會の經過即ち昨年來數十回に亙りて委員會を開き政府と交渉して今日に至る迄の經過を詳細報告する所あり次で原首相よりも大體の說明あり尚床次內相、鐵道院總裁、橫田法制局長官其の他の關係諸官より夫々說明する所あり次いで各顧問官の質問に對し夫々答辯あり各案共既に政府側と樞密院側との諒解を得たることなれば別段異議なく全案は精查委員の修正通り可決し附屬案に就て政府及樞密院側と應答あり之亦原案を可決し、清浦副議長閉會を宣し午後三時三十分散會す清浦副議長は直に伏奏の手續を了し決議事項を內閣に通牒したるを以て原首相は一兩日閣議に附し御裁可を仰ぎたる上一兩日中に發表さるべく尚右の結果廢止さるべき官制は左の如し

一、統計局廢止に伴ひ內閣統計局に顧問設置の件
一、軍需局官制
一、軍需評議員官制
一、鐵道院官制
一、鐵道院職員定員令の件

## 海事委員會官制發布

海事委員會官制(南洋)は十二日官報を以て左の勅令公布されたり(東京電報)

勅令第百三十號海事委員會は遞信大臣の監督に屬し海事に關する事項に就て其の諮問に應じ意見を開陳す
本會は會長一名副會長及委員若干名を以て之を組織す
會長は遞信大臣を以て之に充て副會長は遞信次官を以て之に當つ本令は布告の日より施行す

## 日本軍國的脅威と診安

スミス博士演說

朝鮮京城に在住せるエフエイチスミス博士はメソヂスト會議の席上一場の演說を試みて曰く日本は軍國的脅威を爲さんとするものに非ず何んとなれば日本の少年は陸軍大學にも又は海軍大學にも入らんことを希望し居らざるが故なり日本は數百の子弟を教育せんとして專門學校二十九、大學十校を建設せんが爲め莫大の經費を此の一方面に使用したりと尚同氏は最近世界のデモクラシーは所謂露國のデモクラシーにして這は最も偉大なる諸問題を維持し勞働者の間に勝せる過激主義と同國民の苦難より來れる者なりと確認せり同氏は又最後に說明して日本に於けるメソヂスト教は最近人口一千人に對する同教會附屬財產は亞米利加の夫に比し約二倍なりと謂へり(デモイチ電報)

## 選擧當選者都市黨派別

十日行はれたる總選擧の都市選擧當選者黨派別左の如し(東京電報)

政友會四十名▲憲政會三十七名▲國民黨十五名▲中立二十名(▲純中立五名政友系統六名非政友系統九名)

## 新會社の流產

解散延期並に拂込難

財界の恐慌は金融の梗塞を來し內地にては大小新會社の解散取消し續出し居り朝鮮も興業鐵道の解散要望株主の間に高く來ること三十日の總會は一波瀾を免れざる形勢にあるが京城に於る新會社も流產續出の模樣にあり

財界緩和より見るも事業整理上より論ずるも喜ぶべき傾向と云ふべし志岐信太郎氏その他京城有力者を發起人とする資本金一百萬圓の朝鮮自動車運輸會社は去る四月の拂込みを六月に延期し居れるが拂込み完了の見込みなく事業の前途亦困難あり賛成株の割當にも無理あり諸種の關係は創立を不可能ならしむるにつき十二日有力發起人數氏は某所に會同解散を申合せたるにつき近く賛成すべく今日まで要したる經費約五千圓は發起人に於て分擔して徵收する筈

資本金二百萬圓の京城製紙會社は來る十七日までに第一回拂込を徵しつゝあるが公募申込み不成績なりし以上に拂込みは不況を極め恐らく成立不可能ならん該會社は計畫の割りに資本金多きに過ぎ又その收益は之を兩三年後に明せざるべからず金融緩慢の際ならば生產事業として必ずしも不急にあらざるも今日の血の出る如き資金を要する新事業に固定せしむるは歡迎すべき事にあらず結局解散の外途なからん又資本金五十萬圓の朝鮮食料品會社並に京城石材會社は共に拂込み難を感じ而して既にその無期延期を發表せるが無期の延期は畢竟解散に異ならず寧ろ解散して拂込金の拂込み分の返還をなすを妥當とすべく發起人に於て何れ成立せしめんとの意向あらばその際に之を發表するも決して遲からず此の聲有力につき何れも一先づ解散すべき平穩後に

京城券番は資本金一百萬圓の事業なるが營業科目賛成發起人中等に多少の疑義あり發起人中早くも持株の手放しに焦慮せるあり月末の拂込み徵收は困難にあらずやと噂ふ

## 火災保險時價

財界動搖影響

朝鮮は內地に比し財界惡化の影響少く一般動產不動產の低落の程度甚大ならずと雖も尚今後如何なる狀態に於て動搖擴大すべきか逆睹し難きものあるに際し一般火災保險契約者中には火災保險の目的物件が火災に罹りたる場合其の時價が保險金額以內に低下したるときは火災保險辨償金は其の時價を限度とし保險會社より損害を塡補さる規定あるにも拘らず保險金全額を得べきものと誤解し仕入品臺帳等によりて全額辨償を主張し保險會社との間に異議を生ずるのみならず故意に放火する等の犯罪行爲を敢てする者なしと限られざるを以て京城各保險會社支店出張所に於ては近く會合をなしか、る紛議を未然に豫防する手段を講ずべしと

## 不渡防止對策

各銀行の協議=十三日實行

京城組合銀行にては現下財界の變調に對應すべく手形交換に關し五月十三日より左の通り實行する事を申合せたり

一、他所より仕向けられたる取立手形の仕拂場所欄に往々その支拂人の取引銀行にあらざる銀行名を記入しありてため決濟整理の暇なくして不渡りとなり處分を受くるの實例少なからずよつて各銀行はそのコルレス先に向つてその取立を依賴せんとする手形の仕拂ひ場所は眞に取引ある銀行を指定するか若し取引銀行判明せざる場合は寧ろ仕拂ひ場所を記入せざる事に組合銀行共同して注意を促す事
二、當所拂ひ手形はその仕拂場所を仕拂ひ義務者の取引銀行に指定せしむる事を本則とし其の指定なきものは割引料率を高むる事に協定し大正八年四月一日より實行する事に決定せるも一層此際その方針の實行を徹底せしむる事
三、財界變調の當節柄他銀行小切手の受入れに就ては當分の間仕拂保證を要求する事

### 止むを得ぬ處置

中西幹事談

右の內一項と二項は永久に實行すべくその勵行は手形流通の圓滑を期する上に於て必要なり第三項の他店小切手に仕拂保證を要求する事は當分の意味なりコハ銀行取引者の不便を感ずる點もあらんも現在の如き信用の破綻時代には銀行の自衞上より見るも取引先の不測不注意に基く不渡り制裁を避くる上に於ても必要と信ず素よりある意味に於て信用組織の逆轉なれど現に於ては他店小切手中懸念ある分は電話を以て問き合はす筈の手續をとり居れるにつき相互の圓滑を期する事となるなり唯信用厚き會社商店等には迷惑の點もあるけれど斯かる場合には手數をかけ隔てを附するは面白からず聊か玉石混淆の觀あれど一率に斷行する事となれり尙ほ內地各都市共色々の手段に於て京城と略同樣の措置をとり居れり

## 京株重役內定

京城株式現物取引市場の重役は十四日の發起人總會に於て內定すべきが大體に於て候補者は左の如き顏觸れなり

釘本藤次郎、天日常次郎、古城管堂、和田常市、富田儀作、大池忠助、白濱洙、芮宗錫、方台榮

社長は釘本氏專務は色々の揣摩說出でしも結局天日常次郎氏就任の外なき如く大池氏選に入れば和田氏は或は退くやも計られず朝鮮人側は多分三名なるべく趙鎭泰白完爀の兩氏は固辭し結局發起人としては白芮兩氏出で方台榮氏は內地語堪能且つ內鮮連繫の必要人物として有力方面の推薦あり多分取締役たらん尚ほ或は地方鮮人の發起人一名を加ふるやも計られずと

## 實銀拂込決行

鮮銀との連繫成らん

朝鮮實業銀行の第一回拂込みは金融梗塞財界混亂のため延引しつゝありしが既報の如く十三日より十五日までに徵する事となりたり聞く所によれば該銀行の拂込みは尚ほ若干延引して如何との議も出でしやうなれど(一)京株の創立と開場の接近(二)地場銀行活動の必要今月に於て痛感せられつゝある事(三)京仁有力者の發起銀行が成立を延期する事は面白からず(四)有價證券の主力金融機關として活動を要望せられつゝある事(五)實銀の不成立は獨り株界のみならず其惡影響各方面に及ぶ事その他を考慮し發起人は十二日協議の結果拂込を決行する事に決定したり實業銀行は現株市場の機關銀行として京城に於ける株式金融の中心をなすべくその成績は相當有望視され又銀行の首腦者には親銀行として朝鮮銀行に對し援助を受くべき朝鮮銀行に對し推薦を依賴し略その同意を得られる由にて新銀行は新人物の經營に歸する事となるべし

### 人選下馬評

朝鮮實業銀行の首腦者は之を鮮銀に求むる事となるべきが當初平壤銀行に赴任せし横山直樞氏に內交涉ありし模樣なれど或る條件のため折合はず氏は遂に破談となるが結局本店に頭取專務の人物を求むれば檢查部長中西喜久男氏ならんとの下馬評あり或は古參支店長より拔くやも計られず重役に於て考慮中なりと

## 鮮銀券激減

十二日の鮮銀券は一億一千八百萬圓に激減し正貨準備四千七百萬圓となれるに限外も亦二千百萬圓に縮少したり

## 齋藤總督御禮

齋藤總督は李王世子殿下御結婚に付李王殿下より記念品を賜りたるを以て十三日午前十時伊東秘書官を代理とし藤波通譯同道昌德宮參候御禮を言上せしめ更に來る二十七日を以て擧行すべき朝鮮神社地鎭祭の御案內を申上げたりと

## 命課布達式擧行

龍山野砲兵第二十六聯隊の命課布達式は曩に騎兵第廿八聯隊及工兵第廿大隊と共に實施の豫定なりしも砲兵は廣島より新設第二十大隊の砲車未着なりし爲め延期なしたるが今回愈到着したるを以て十四日午前九時より新練兵場にて擧行すべく淨法寺師團長は臨監を爲へ是を閱すべしと

## 不渡振出者公表

不渡手形を出したる者は組合銀行にて取引停止その他の制裁を加へつゝあるが今後不渡り振出者はその情狀により公表する事となるべし

## 朝釀無配當

朝日釀造會社は來る廿九日商業會議所に第一期株主總會を開會の事となりたるが初期は經營の都合あり無配當に決せり

## 水道主任會議

全鮮水道主任會議は十四日及び十五日の兩日に亘り總督府第二會議室に於いて西村土木部長統裁の下に開催さるべく十四日は政務總監の訓示、打合、十五日は打合並に見學等を爲すべしと

## 郡守視察團出發

朝鮮總督府主催朝鮮人郡守內地視察團一行四十三名は十五日朝南大門發特急車にて內地に向ふべく視察地は神戶大阪京都奈良伊勢名古屋東京與等にして六月十二日歸鮮の豫定なり

## 醫師試驗合格

醫師試驗第二部受驗者成績は十三日午後發表されたるが合格者五名其順位氏名左の如し

杉山意佐美、李顯弼、熊野幸次郎、金在明、李寄源

## 諸學校認可

忠淸南道管內にては今回左記諸學校新設さるゝこととなり夫々認可ありたり

▲燕岐郡大平里大平普通▲論山郡恩津面恩津普通▲扶餘郡…陽里九龍普通▲燕岐郡新村里…普通▲舒川郡板橋里板橋普通

## 公會私會

▲柳川入營親睦會 安武總務局長の歡迎を兼ねたる柳川入營親睦會は十一日夜京城ホテルに開きたるが…盛況なりき

▲運輸業務打合會 來る十五日より大田驛に於て第二回運輸事務打合會を開催すべしと

## 人事消息

▲阿部充家氏(國民副社長) 朝田殖產視察の爲平安南北道旅行の…
▲朝倉外茂鐵氏(辯護士) 全州出張中の所十三日朝歸城
▲鹿島久治氏(步兵中佐) 十三日平壤より來城
▲松永榮耕氏(步兵中佐) 同日公州より來城
▲長野三郎氏(步兵中佐) 來城中の處十三日光州に歸任
▲安田寬氏(步兵少佐) 同じく…に歸任
▲大島正次郎氏(步兵中佐) 同…海州に歸任
▲三宅碩吾氏(步兵少佐) 同じく…州に歸任
▲足立晉三氏(砲兵大尉) …より歸任
▲殿田盛氏(總督府醫院醫長) 神經衰弱症に罹り別府にて治療中の處全快二十日頃歸任の由
▲橫田法務局長 八日來光州地方法院光州監獄等を巡視の上光州官民の歡迎宴に列席し十日…浦へ向け出發(光州)
▲井戶川平壤旅團長 十三日午…時發退城
▲石黑江原道第三部長 十二日…城不知火へ
▲本木伊吉氏(辯護士) 釜山出張の處十三日歸城

## 寸塵

此頃何處かの國では我西伯利行の…に對して又々チン〳〵燒き出したらしい▲お燒きなさるの…は初めてとは決して申さぬが…は其の燒方が大分强い樣なが可笑▲何う云ふ處から照燒…るかは存じ申さねど要する…國紙幣が低落した結果市場が…貨建となる樣な噂があるから…も一原因となろう▲抑…斯うなるのは何にも某國が…鏡を掛て見た樣な譯は毛頭…らぬ▲と云ふのは露國の大…レニンの貨幣政策の目的…せられたからだ▲レニンは…の流通は資產家階級を利…に止り勞働者階級には無用の…のである▲即ち貨幣あるが…結局富の分配の不平均を來…自らにして資產階級なるもの…を生ずる▲其處で現在の貨幣…流通を止めるには貨幣を無…たらしむるに若くは無い▲…値ならしめんとせば濫發…限ると彼一流の見解から之れ…實行した▲で其目的通り貨…幣はガタ落ちで何とも仕樣が…くなつた▲レニンの破壞政策…成功したが彼は舊制度に代…き新制度の計畫を缺いて居る…だから何處迄も露國は手が…られぬのみか斯うなつては…なごの行はる・筈がない▲…が困りはてた末日貨建にしや…こするのも自然の要求である▲…何にも此方から御やつてやらした…譯のものではない早ふ云へば…て問題にするなんて餘り聞かれ…た話ちやあるまい▲緩衝地帶の…設置なども大分嫉妬の原因を作…ろうが其れは御勝手な事だ

[illegible]道進場部蘭谷面に事務所を[illegible]ラウ」を以て新設したるも本秋[illegible]決定せず會社よりは資金及び土[illegible]當局に於ては本月五日を以て鮮
改造したる愛知縣下豪農を株主よりは「トラクター」二臺を備へ地を提供し獨逸人は智力勞力を人女子二名を電話交換手として
るこ愛知農業株式會社は荒蕪[illegible]付け使用する由なれば將來本事[illegible]提供して利益配當に依る契約なるもの、如く[illegible]採用したり（春川）

## 南洋廳官制審査
### 近く閣議に附議

南洋占領諸島の統治機關は國際聯盟の規約に遵ひ愈々委任統治實施せられ現在の防備隊司令部の廢止と共に新に南洋廳を設置し純然たる民政の施行せらるべきは屢々報道せる所なるが既に海軍省より之が實施に伴なふ官制變更の申請を内閣に進達したるやにて右は遠からず正式に閣議に附せられたる上内閣直屬となり拓殖局專管となるべく法制局にては南洋廳官制及之に關する拓殖局官制一部改正の兩勅令制定に際して鋭意審査中なりと而して南洋廳には長官（勅任）部長理事官技師通譯官其の他の職員を置き本廳をトラック島に支廳をヤルート、パラオ。ヤップ。サイパン等の各地に設置し支廳長には理事官を以て當てらるべく長官は占領以來民政事務に從事し諸般の事情に精通せる現民政部事務官長手塚敏郎氏就任を見るべき模樣なり右設置に伴なふ經費の豫算は特別議會に提出せらるべきが其の主なるものはアンガウルの燐鑛事業經營費にして内地南洋間の定期航路補助費港灣其の他事業費を加ふれば百萬圓以上に達すべく此の外臨時費として廳舍及び官舍の新營費等にも相當經費を要すべき見込なり尚該廳設置に伴なふ準備を兼ね此の方面視察中なる北島拓殖局書記官は來月下旬歸京すべく之に前後して手塚理事務官長も事務打合の爲上京すべし（東京電話）

## 釜山港客月貿易
### 三百三十萬餘圓出超

四月中に於ける釜山港貿易額は輸移出額九百五十一萬七千七百七十一圓輸移入額六百二十一萬五千四百三十七圓合計一千五百七十三萬三千二百八圓にして差引三百三十萬二千三百三十四圓の輸移出超過を示せり今左に前年同期若くば前月に比し輸移出入に就て格段の増減ある重要品を掲ぐれば

### 輸移出

**米** 三百九十九萬九千九百三十五圓にして杜絶状態にありて前年同期に比し多少の増加を示せるも價格昂騰の結果も含まれ例年に比すれば全く不振の状勢にして内地米斷安を入れ商内不引合の結果なる可し

**生糸** 前年同期に比し一躍三十三萬餘圓の激増三十三萬九千九百二十圓の移出を見たるは一つは生産の増加と鮮内製絲業の發達に伴なひ從來繭のまゝ送り出されたるものが過半以上製絲され移出さるゝに至りたるに因る

**金鑛** 二千五百圓鐵鑛及び金銀粗銅々塊及び錠等の皆無を示せるは例年に比すべくもあらず昨年來よりの内地工業界の沈衰に基因す

**牛皮** 五十萬九千百六十二圓にて昨年同期の十四萬一千二百十九圓に比べ約三十七萬圓の激増を見たるは内地よりの需要旺盛にして從來の支那皮は銀塊騰貴の爲取引不引合にして鮮地各所へ注文殺到し來りたると旱害等の影響により近來著るしく屠牛數の激増せるによる

**牛** 三十七萬九千六百圓前年同期の十四萬五千八百五十一圓に比すれば二十三萬三千餘圓の激増にして逐年内地需要の旺盛に赴きつゝあるに基因す

### 輸移入

**小麥粉** の十六萬六千十七圓粟の三十五萬七千八百五十一圓を示し前年同期に比し共に約三倍の移入を見たるは全く米價騰貴による代用食物として鮮人の需要旺盛に因る

**砂糖** 十二萬七千六百七十九圓前年同期の六萬六千三百三十圓に比べ約六萬圓の増加を示せるもこは全く昨年は消費税賦課に恐れ移入手控へをなしたるに基因し月並と云ふを得可し

**綿織絲** の七萬三千三百四十五圓生金巾及び晒金巾及び晒シーチング二萬七千百七十二圓綾金巾及び雲齋布五千十圓天竺布一千八百三十八圓綿繻子及び支那縮布皆無にして前年同期に比し各三倍乃至五倍の減退或は全くの輸移入を見ざるは財界の變動による綿絲布類の大暴落に基因す

因に本年一月以降の累計を示せば輸移出三千六百十九萬六千八十九圓輸移入二千二百九十九萬八千三百四十一圓合計四千二百八十三萬二千五百十四圓にして輸移出超過累計五百二十九萬四千六百五十圓なり（釜山）

## 湖南線施設
### 改善要求

一般經濟界の發達に伴れ朝鮮に於ける鐵道輸送の増加亦著るしきものあり殊に湖南線の如きは他に比して其の施設劣惡なるだけ運輸交通上の不便一層甚だしきに至れるは言ふまでも無く同地方多年の懸案として高速力の列車増發及び各驛に於ける設備の改善を要望しつゝありし處も今尚ほ此の實施を見ざるは遺憾なり、茲に於て群山商業會議所は大田木浦各驛の實業家側と相呼應し今回之が要求陳情を齋藤總督並に久保京管局長に致さんとせり其の内容次の如し

◎久保京管局長へ宛たる書翰

拜啓益々御隆昌奉賀候陳者朝鮮鐵道湖南線に高速力の旅客列車を増發し主要驛に雨天昇降場を設備し各驛に倉庫又は上屋の新設若くは増設を爲す等全線に對する施設改善は久しき間の輿望にして現に昨年十月開催せし朝鮮商業會議所聯合會に於ても其次第を要望する所有之貴社に於ても充分之を諒とし其改善を急がれつゝあることは信じて疑はざる所に候得共近來旅客の激増は特に著しき事實にして客車内は毎に定員を超過し座席なくして起立せる者甚だ少からざる狀態を呈し是等の實況は貴社に於て御承知の通に有之候に付ては上記各種の施設事項中列車の増發は急務中の急務にして或は現行列車に車輛を増加聯結することも亦之を緩和するの一法たるを失はざるべしと雖も斯の如きは一般の希望に適せず朝鮮に於ける一般産業界經濟界の狀勢は其後全く面目を新にして到底往年の比に非ず鐵道旅客激増の如きは亦畢竟此反影たるの外ならず今や朝鮮鐵道は其旅客輸送を益々敏速ならしめ同時に其發着回數を増加するを以て時代の要求に應ずる最緊要の施設なりと可申殊に朝鮮鐵道中最惡なりとの定評ある湖南線に於て一層其然る所以のもの有之候に付ては此際至急湖南線全線に對して尚一往復高速力の旅客列車を増發し以て當面の急を緩和すると共に將來の發達に資せられ候樣特別の御詮議御依頼申上度此段得貴意候　敬具

◎齋藤總督へ宛てたる陳情書

朝鮮鐵道湖南線に高速力の旅客列車を増發し主要驛に雨天昇降場を設備し各驛に倉庫又は上屋の新設若くは増設を爲す等全線に對する施設改善は久しき間の輿望にして現に昨年十月開催せし朝鮮商業會議所聯合會に於ても其次第を要望する所有之候處近年湖南線に於ける旅客の激増は著しき事實にして客車内は毎に定員を超過し座席なくして起立せる者甚だ少からず其詳細は鐵道統計の明示する通に有之候左れば上記各種の施設事項中列車の増發は急務中の急務にして或は現行列車に車輛を増加聯結することも亦之を緩和するの一法たるを失はざるべしと雖も斯の如きは公衆の希望に適せず朝鮮に於ける一般産業界經濟界の狀勢は其後全く面目を新にして到底往年の比に非ず鐵道旅客激増の如きは亦畢竟此反影たるに外ならず今や朝鮮鐵道は其旅客輸送を益々敏速ならしめ同時に其發着回數を増加するを以て時代の要求に應ずる最緊要の施設なりと可申殊に朝鮮鐵道中最惡なりとの定評ある湖南線に於て一層其然る所以のもの有之候に付ては此際至急湖南線全線に對して尚一往復高速力の旅客列車を増發し以て當面の急を緩和すると共に將來の發達に資せられ候樣特別の御詮議相願申度此段陳情仕候也

## 慶北春蠶狀況
### 掃立六萬枚

慶尚北道内本年の春蠶は南部地方は既に掃立を了し北部地方は目下掃立中なるが爲め掃立數は未知數なりと雖も諸種の狀況より見る時は約六萬枚を降らざるべしと而して南部地方に於ける狀況は早きは三齡三四日のものもあれば本月二十五六日頃には走り繭の出廻りを見るべく一般は六月十日前後を以て蔭繭出廻りの最盛期たるべしと（大邱）

## 陸棉作付増加
### 發育亦佳良

慶北道内本年の陸地綿作付反別は一萬九千三百七十二町歩にして此耕作人員十萬八百三十九人なるが之を前年度に比すれば一千百町歩一千七百九十一人の増加を示せるが本年は氣温の關係上前月末迄に全部の播種を終了したる折柄二日以來の降雨に依りて各郡一齊に發芽し成育狀況亦良好なるもの、如し（大邱）

## 江原蠶業奬勵
### 純桑園促成

本道は由來蠶業に適し山桑を利用して養蠶をなすもの多く從つて桑園の見るべきものなかりしが斯業進歩の趨勢は茲に純桑園設置の必要を認めたるを以て從來の栽桑奬勵方針に一歩を進め純桑園の仕立方普及を促進せんが爲めに新に桑園を仕立て植付け肥培管理其の宜しきを得て發育培良他の模範とするに足るものは一箇所五畝歩毎に地方費より金十圓以内の補助を與ふることゝし來春植付けの分より積極的奬勵を加ふる方針なり（春川）

## 營口より

久し振りにて一筆申上候當地も一般經濟界不況の影響を受け一時の大景氣も何處へやら此頃は誠に靜かに見受けられ候

◎建築等一時は本年度に百萬圓の豫算有之候に何れも手控へ成り僅に建物會社の事業一部の他昨年來の引繼ぎもの等二三事中に有之候請負者も本年の建築を見越し大分木材等も仕入れたる向も有之何れも手古すねして待居り候に急轉直下の一頓挫にて此の頃は青息吐息の者も有之由に候　證券仲買人等は一時の好況にて一年間も續けば成金位の豫算を立て候に此頃は頓と御話にならぬ有樣誠に氣の毒の樣に候

◎當地埠頭の船車連絡等に關しても各委員を擧げ研究交渉を持續し居り候へども何分あれこれの支障ありて完成六ケしく殊に本年度は滿鐵大消極方針をとり新事業の全部見合せとの事にて埠頭の護岸工事等も自然延期せらるべく其中倉庫丈けは是非本年中に建築すべく委員にて極力交渉中なれば或は實現を見るべきかと存じ候

◎遼河の捨石工事も追々奏効の由にて淺洲は漸次沖合へ持ち運ばれ居る由に候それやこれや次第に進捗發達し候へば兩三年中には營口も港としての價値を可成り發揮する事と存じ候

◎荒井遼河工程局技師の後任關崎博士も昨日より新任挨拶に訪問せられ居り候へば上流の水害に關しても遠からず光明を認め得べくと存じ候

◎物價下落につきて各地より出張販賣もあり目下市中も大賑ひの中にて多少市況も賑はしく相見え申候

◎本日は滿鐵會社の招待に係る内地新聞記者の視察團一行來營の筈に候


廣告

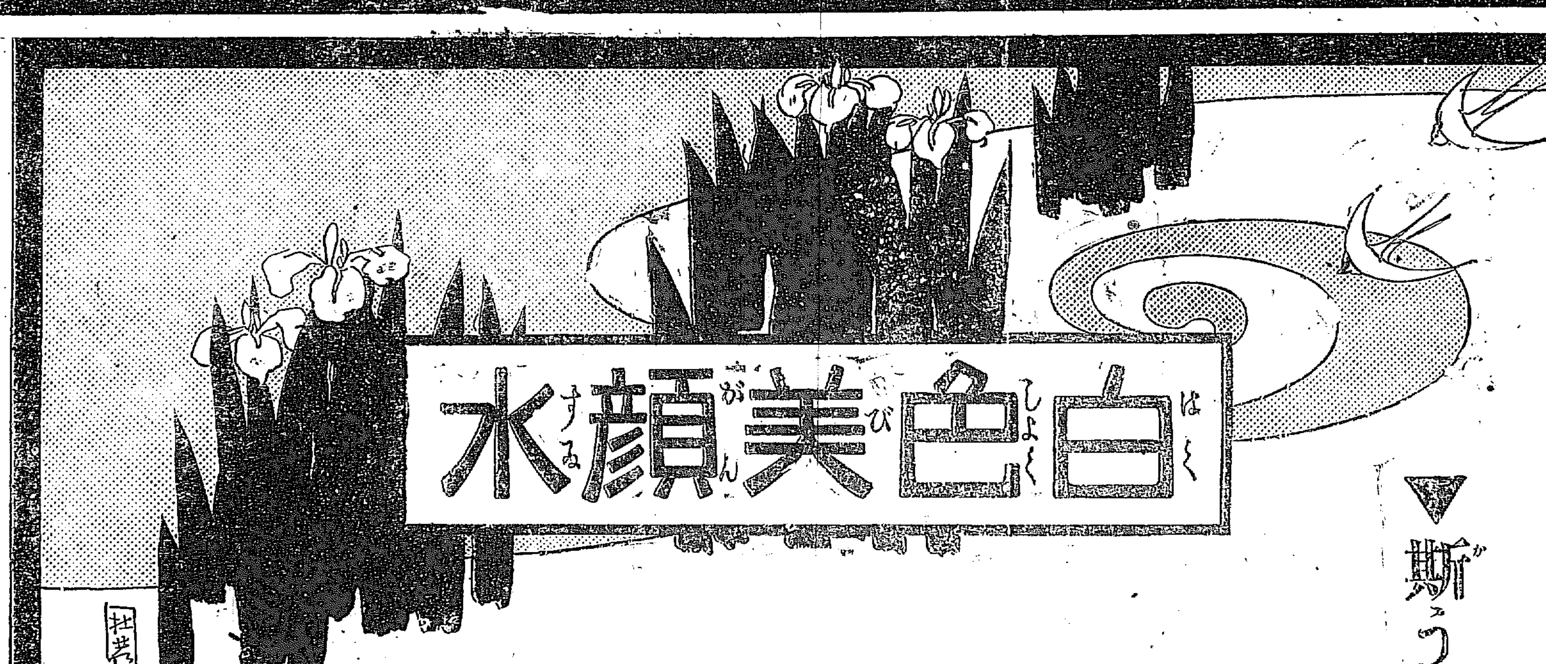
贊化病院
内科　小兒科
入院隨意
毎日五名を限り施療す
醫學博士　古城憲治
醫學得業士　打田義芳

精米業　雜穀、鍊、糠
賣屋業
朝鮮古米券販賣　目錄無代進呈
京城本町四丁目
佐野仁作商店
電話一四九二番電略（サ）　振替京城七四〇〇番

一ヶ年釀造高一萬五千石
朝鮮燒酎株式會社は獨逸式に九鬼式を加味し獨特の釀造法に依り壹日四拾五石を搾出し好評嘖々賣行飛ぶが如し
平壤　朝鮮燒酎株式會社　社長　齋藤久太郎
◎種類　月仙、雪姫、桂花、翠香、壽福　御通信次第各種發送可致候

優等清酒

京城永樂町二丁目　本莊酒店　電話六五四番
仁川京町　本莊支店　電話二六番
安東縣大和橋通　本莊支店　電話一七番


白色美顏水（はくしょくびがんすゐ）

▼斯うしたお喜び【附、水白粉の使ひ方に就て】

若き主婦方のお喜び

「此坊やに手が懸つて、繕ひも無い姿容で毎朝良人を勸へと送出す心苦しさ！用事は多し手は廻らず、まあ何うしたら可だいらう…。」お忙しい主婦方は兎角お化粧の暇も得にくいものですが、然ういふ方は朝洗面の其手で直ぐ白色美顏水を附けますと、暇は少しも懸らずに品よく美しいお化粧が出來上ります。凡てお忙しい方は優れた化粧液と白粉とが巧く組合せてある此化粧料を喜んで居られます

青春の方々のお喜び

「今が美しい時代だと言はれながら、此多すぎる脂肪や其爲の吹出物、それ故に美しく出來ぬ見苦しい化粧顏！之をまあ何うしよう。」人生の春、美しかるべき青春の方にも斯うした方が多いものですが、然ういふ方は白色美顏水をお用ひになれば、今迄の化粧困難は忘れて終ひます。艶やかに美しく而て優にやさしいお化粧顏！脂肪や吹出物も白色美顏水のお化粧顏を見苦しく見せる事は出來ません

お母さま方のお喜び

「西洋婦人は年齡が進む程化粧に注意して、天然の容色の衰へを補ふと言ふけれど、さて此年で煉白粉は白すぎるし何か無いものか。」學校へ通ふ程のお子持の母樣方にも、お心に若き力、お顏に若き光！それが御家庭を明るく保つ因でせう。然し此お年頃で餘り長々と鏡に向ふも如何でせう。時間が要らず勞なく出來而てしつとりした婦人美と化粧美を現す白色美顏水は此點で亦稱用を博してゐます

お孃さん方のお喜び

「學校の事では負けないけれど、お化粧では馴れないから駄目よ、甚麼お化粧顏で余所へ出かけるのは厭々々！お母樣何うしませう。」未だお化粧馴れないお孃さん方には、白粉が中々巧く附かないものですが、然ういふ時こそ白色美顏水を試すのに良い時です。甚麼に白粉の附きにくい肌の方にも、白色美顏水はすら〳〵と良く附き、上品で優美な化粧美を、遺憾なく發揮するやうに出來て居ります

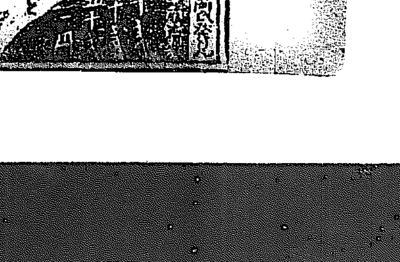
今一つ新しいお喜び

「四十といふ此年では餘り白い化粧は面白く無い。」「私は色が白く無いので何う苦しんでもお化粧が見苦しくなつて爲樣が無い……。」斯うした方々には白色美顏水の姉妹品たる肌色美顏水が大きな喜びを持つて來ます。肌色美顏水は白色美顏水へ輕い肌色を含ませて四十代の方にも極く自然らしく、色白く無き方も色白き方のお化粧したのと同じ樣な化粧美を現す樣に出來てゐる化粧料です

水白粉の使ひ方に就て

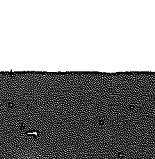
薄化粧をお好みの方や又は是非薄化粧でなくてはならない方には、襟頸にも水白粉を用ひ、板刷毛に含ませて塗るのが宜しいのです水白粉は初め幾ら振つても上の方は薄く底の方は濃いのですから、之を平均して使ふには別の瓶に上の方半分を移しておき、中程から使ひ始め、濃くなるに從がつて別の瓶の薄いのを加へて用ひ、最後には蒸溜水又は沸騰して冷した水を加へて薄めても差支在ません。

光榮ある美顏化粧料　三十六種の内
桃谷研究試驗所創製




内科小兒科　外科花柳病
仁川宮町　松本醫院
×光線科　耳鼻科　電話三四五番

解雇廣告
酒井勇
右之者都合により解雇致候間自今當社と何等關係無之候也
大正九年五月八日
市內漢江通四　東產社

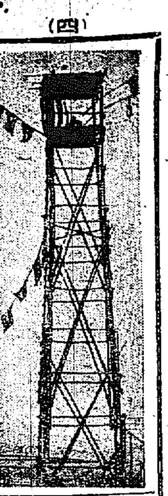
最新改良
プロペラー式
唐箕

朝鮮發賣元　釜山驛前
朝鮮勸農商會
（特約店募集）


長男泰介儀遺骨到着致候に就ては來る十五日午後二時三坂通官舍出棺龍山大谷寺に於て葬儀相營み可申此段謹告仕候也
大正九年五月十四日
富塚祐一郎
親戚一同

御貴名伺ヒ洩モ可有之茲ニ謹テ御會葬御禮申上候
妻　柴内フミ
嗣子　柴内五郎
親戚　柴内幸藏
石川馨
友人總代　大辻已年
山田利吉
藤川圓藏
鈴木小平治
水產會社總代　熊野吉藏
魚仲買人總代　竹中玉五郎
江口又三郎
右田恒造
七部會總代　金子藤太郎

# 新東方の面々(上)

## 優勝旗の爭奪と番附面の入れ替へで　興味を唆る今場所の相撲



場所毎に栃木大錦方のみが勝ち續けて好角家の興味を削ぐ事夥しいものがあつた然るに如何なる天の廻り合せか今春場所は鳳組の勝利に歸して久しく敵手にのみ委ねられてゐた

**優勝旗は** 遂に鳳組に依つて奪還せらるゝこととなり俄に好角家をして興味を惹かしむることゝなつた扨て此の興味ある新番附は去る七日早朝を以て愈々發表せられたが之が又思ひ切つた入替で其の手先の新しい所は益々面白味を添へてゐる然し華々しく東方の本城を占領した鳳組が能く之を

**守護し得** る事が出來るであらうか大いに景氣附いた新東方にはお馴染たる三杉や大潮等の強者はゐるが新西方の源氏山等の猛者は猶旭日昇天の勢ひを持つてゐるではないか即ち彼の國技館の櫓太鼓が響くとして墨田川に飛び交ふ水鳥を慫かす時も愈々兩三日内に迫つたが今度の夏場所こそ血湧き肉躍る大血戰を見る事であらう扨

**新東方の** 總大將たる鳳は宮城野部屋の出身で當年正に三十四歲である生國は千葉で其身長五尺九寸二分體量三十二貫の大兵である明治四十二年の一月初めて入幕して勇猛邁進一擧にして横綱を張るに至つたが其の最も得意とする所は左四ツケン〃〃逆トツタリで既に特有の

**小手投げ** は既に定評あるものである大關千葉ヶ崎は同じく千葉の出身で當年二十九歲の壯者である五尺八寸の身長に三十一貫の體重は大關として申分はない二十山部屋に養成せられて右四つ吊り投げは最も得意の手である關脇三杉磯は尾車部屋の強者で當年既に三十歲を踰すと雖も五尺九寸の身長で廿七貫の體重は

**堂々たる** ものがある遠く北海道に於て呱々の聲を揚げし者なるが今や新東方の花形として知られてゐる大正七年一月を以て入幕し右四つは其最も巧なるものである一擧小結に昇進したる大潮は三杉と共に新東方の花形として錚々たる剛者である前名を潮ノ濱と稱し

**陸奧部屋** に於て練磨され大正六年五月入幕して以來忽ちにして人氣を一身に集む福岡の出生にして當年二十九歲身長六尺體重二十五貫を有して居る左四つ及び吊りが最も得意である(東京支局)

# 今が織物の買ひ時か否か

## 何處の家庭でも迷つて居る　加工の少い無地物を買へ　此の暴落は何時迄續く?

絹綿絲の暴落織物製造業者の投げ賣りに續いて大吳服店の廉賣開始の爲め小吳服店は從來よりも一層大吳服店に客をすひ取られる形勢となつたが之が對抗策は小賣店に於ても矢張大々的廉賣を實行するの外は無いのである乃で

**小吳服店** も昨今は大吳服店に負けない位安値の札を店頭に貼出して客を呼んで居る而して從來一反二十圓位であつた銘仙に十圓以下の札を付けるに至つた店も少くない扨て吾々需要者としては此廉賣がいつ迄續くや否やを考へる必要がある西陣名古屋桐生足利伊勢崎八王寺其他國內の

**織物製産** 地では今猶休業狀態であるし且つ再び織物業者として起ち得ない者も澤山ある見込である其れ故今月中に景氣が恢復して生産地の煙突が煙を吐くものと假定しても此下半期の生産高は昨年の同期に比して激減するを免れまい單に生産減少の理由から考へても現今の織物の相場は先づ

**相當跳返** すものと見るのが當然である絹糸は戰前には橫濱の標準相場一梱八九百圓であつたのが昨年の十一月には二千七百圓に上り更に今年に入つて四千圓以上に登つたが俄然形勢一變して千七八百圓に暴落

# 怖るべき獸疫

## 本年度だけでも四萬廿頭の罹病

總督府豫算に依る獸疫豫防經常費は地方費二萬四千圓に警務費からの支出一萬七千圓を加算して僅かに

**四万一千圓** の少額を以て全道の獸疫豫防に充てるのであるがだが獸疫は常に一定の率を以て襲來するものでなく時に依つては極めて些少の額で足りる事もあるので卒ざ一朝蔓延の際には豫備費中から臨時に支出する處になつて居るさうである然も本年度の如きは牛疫流行の爲め平北十二萬、咸南八萬圓兩道の合計だけでも既に

**二十萬圓を** 費して居る由で警務局衛生課では更に多大の獸疫豫防費を要求して徹底的に此方面の防疫を企圖する由右に付某技師は語る『獸疫を一口に類すると皮鼻疽、炭疽、氣腫疽、豚コレラ、豚疫、狂犬病、牛疫、鼻口疽等を指すもので皮鼻疽は耳に起る病變で炭疽は哺乳獸及び鳥類等のあらゆる

**家畜を犯し** 人間にも傳染する最も恐るべきものです。豚コレラは一種の肺血症で豚疫は下痢症、狂犬病、牛疫、鼻口疽等は既に人の知る所で昨年一ケ年の全鮮に於る之等の獸疫は皮鼻疽六十五頭、炭疽八百廿八頭、氣腫疽二千四百頭、豚コレラ九十六頭、豚疫十頭、狂犬病三百九十六頭、鼻口疽三萬六千二百十頭、牛疫十五頭合計

**四萬二十頭** と云ふ恐るべき統計を示して居ます此等が人類に對する流行病に多大の注意を拂ふべきは勿論ですが獸疫に對しても非常留意する要があらうと思ひます』

# 尙高過ぎ

してしまつたそれで戰前に比すると云ふ人もあるが日本は戰前は借金國であつたのが今は成金國になつたから隨つて此理由から綿絲の今の相場は決して高くないと云ふ人は云ふ綿絲の相場も是れ以下に落ちては大變だと紡績會社でも仕事の手控をするやうになつた

**更に下押** しに押され樣うして綿絲や綿絲の大勢に注意して考へ合せると織物の値段は今より

て賤くなると云ふ見込は一寸立たない寧ろ今の値段よりも上がるものとは見られないが當然のやうに思はれる此理由に於いて今織物を買ふ事は先づ損をしないと見て間違ひがないだが但し買ふにも上手下手がある縞柄の大きい物や流行が目に立つ物は進んで買はずとも好いから

**流行に關** せぬ物假へば無地羽二重地の甲斐絹同じく無地のモスリン、晒岡木綿晒類は原料の絹綿綿絲の相場と殆んど平行して上り下りする品であるから此種の品は現在の暴落時代を買つて置く事が德用であらう

して加工の少しく觀察する人が多い

# 織物組合が輕減稅を陳情

## 現在の窮境を脫すべく　所得稅撤廢と營業稅減額を叫ぶ

東京織物組合では先般來金融梗塞に依る當業者の窮境を救濟すべく關係銀行當事者と會合して

**陳情協議** する所があり既に其方は大體に折合を見て一縷の曙光を認めて一息吐いたが當業者の當惑は之れのみに止らず昨今機業地の大恐慌の影響を受けて昨今殆ど無商と同樣の狀態にある上多數の現物を抱へて資金の運轉がつかず

**大多數は** 破產に瀕して留々と支拂不能者を出してゐる矢先組合員は一致結束して所得稅撤廢と營業稅の減額を叫んで關係官廳に運動を開始した之が爲め愈十一日午前十時日本橋區織物同業組合

**樓上** で永代橋稅務署官吏出張して組合評議員と膝を突き合せ現狀を聽き取談合することゝなつた右に就き當業者は語る『近頃の金融梗塞は極端です此際多額の稅金を收めることは到底多數當業者の

**堪へ得る** 所でないから官憲の十分な了解を得たいので結束した次第です』

# 名刺に十圓札を貼付して有權者へ

東京牛込區坪谷派委員長區會議員辯護士近藤定吉氏は某有權者に立補名刺の裏に十圓紙幣を貼付して差出したる事發覺十日午後一時神樂坂署に引致取調中

# 常の花傷き　鳳も或は休場か

## 常は中日頃まで出られまい　大潮も稽古中小指を傷けた　鳳は糖尿病で困る

日曜の稽古場は各部屋とも後援會の連中や贔屓客やらで滿員の盛況で頗る賑やかであつた、鳳部屋を覗くとおなじみの鳳の姿は見えぬが三杉磯、清瀨川、紅葉川、大戶平、白岩、小牛田山、能代潟、大蛇山などが揃ふて居たけれど

**前日敵方** の新大關常ノ花が稽古中怪我をして中日頃まで場所に出られまいといふ噂を聞いたので、味方の新小結大潮も前日清瀨川との申合中に左の小指に怪我をしたので場所前に怪我をしては大事をとつて誰も稽古に出ない、三杉磯が小牛田山と三番取つたきりで互に胸を出してぶつかつて居た、そして飄輕な清瀨川が岩木嶽や大蛇なのをおもちやにして

**茶目式を** 發揮し見物の客を笑はせるので大供子供の連中は大喜び、大變な賑かだが稽古は緊張しない、鳳の女房お鶴さんは『關取もね、又例の糖尿病で稽古を醫者から禁じられ今朝も醫者へ診察て貰ひにきましたが場所前になつて氣に心配です、まだ場所に出られないとは關取は言つて居りませんが

**場所に出られゝば可** いがね』と心配して居た(東京)

# 緩衝機　(投書歡迎)

## 局長掛長等を優遇せよ　ＸＸ生

遞信官署現業員の給與に就ては當局者大に感じたるものゝ如く普通の勤勉手當以外臨時に特別の手當を支給する等著しく改善せられ優遇の實稍現はれたるが如し然るに其の中心たり指導者たり又た監督者として直接其の任に當り心身の勞苦最も甚しき甲種局長課長掛長及係長等に對しては何等優遇の途を講ぜざるは奈何尤も同規則第三條には高等官郵便局郵便所課長掛長及係長には勤勉手當を給與せずとあり然れども同條但書には特殊の場合に於ては此の限りにあらずとあり則ち三月末支給したる特別勤勉手當の如き其れにして右の場合前記局長其他掛長等が勞はざる當局の意志何れにあるや余の知れる判任官あり三月中の收入は次席の方多しと云近來世運日に進み通信事業の如き最も敏速に且つ正確を要するものなるに拘はらず遲々正確を缺き不安一も信頼し能はざるに至りしは如何其原因諸種あるべしと雖も之等中心人物の不平不滿亦相應の影響を來せるにはあらざるか聞くところに依れば比較的事務閑散なる乙種局長には相當の勤勉手當を支給し居れりと云ふ近時各方面共人物拂底し雇傭人員增加するに從ひ缺員多く其影響するところ甚大にして業務の遂行上他より窺ひ知り能はざる苦勞あり就中地方にある甲種局長に於て一層甚しと云ふに至りては實に勤勉手當給與の趣旨那邊に在るや矛盾も亦甚しと云ふべし或は云ふ勤勉加給を給する乙種局長と之れを給せざる甲種局長其他とは年末慰勞金給與の上に區別ありと然れども兩々比較せる者の言に依れば之れ想像の產みたる虛言にして斯る事實を認めずと云ふ余輩未だ其實否を知らずと雖も假令之れあるにせよ年末慰勞金と勤勉手當とは給與上の精神に於て已に區別あり徒らに疑惑を招くが如き拙劣なる方法を採らず鮮明なる旗幟の下に相當なる方法に出でんことを遞信當局者に切望す總て部下たる現業員にのみ手當を厚ふするも之等を率ゆる者に於て心中私かに平かならず所謂時間より時間までの事務を執り時間外に亘る現業事務に與からずとせば其結果如何想ひ觀るだに慄然として肌に粟の生ずるを覺ゆ重ねて曰ふ一刻も速かに優遇の途を講ぜられむことを然らざれば意外なる結果を招き延ては社會に及ぼす影響や亦た大ならん

# 浦鹽近信

## 排日鮮人終熄

一時不逞鮮人の策源地として又排日宣傳の根源として知られたる新韓村も今や我が勢力範圍に入り恩威並び行はれたる結果

**不逞鮮人** も日本の眞意を諒解するやうになり漸次親日鮮人の數加はり排日鮮人の如きは全く影を沒せり、總督府より來れる山崎事務官は是等鮮人の爲め穀類の廉賣を開始したるが市價より二割強安價なるを以て鮮人は何れも悅び居れり、聞く處に依れば米國撤兵の際米國は鮮人に對し排日を宣傳し

**暗中飛躍** したる形跡あり、殊に小學生百八十名に對し各被服一組宛を惠與する等頗る彼等の歡心を求めたるもの如し目下浦鹽は將に出發歸還せんとするチェック軍にて市中は殷賑を極めつゝあり、表面日本軍に對し敬意を表せるも裏面には過激派軍と結び反抗を抱くもの少からず、英軍も殘留せし特務機關ブレアー少將以下全部五月十日頃退去すべしと(五月三日發ＴＦ生)

# 歡迎琵琶會

筑前琵琶旭映會主催となり、關西琵琶界に名手として名聲嘖々たる法園山吉尾旭晴女史の歡迎會を明十五日午後五時より明治町齋香園(東拓前)に於て開催する由番組は左の如し

▲齋藤實盛　柴山旭輝▲項羽　▲菊の雛(下)中川旭濤▲筑後川　鶴田旭文▲膝ヶ嶽　▲五鞍の曲　▲茶臼山　三浦旭甫▲長良の秋　風合原旭　史▲靑木旭昌▲屋島　大曲旭華▲小栗栖　江藤旭富▲　本多旭映師▲那須の與市　法昌山　▲廢の市　法園山吉尾旭晴師

○自動車運轉手採用　總督府にては自動車運轉手數名を採用すべきが月收は八十圓位にて外に被服類を給與する由なり志願者は履歷書携帶總督府會計課用度係りに出頭すべしと

## 關釜連絡船

釜山發　朝六、四〇　夕八、三〇

十四日　朝、壹岐丸　夕、昌慶丸
十五日　朝、對馬丸　夕、新羅丸
十六日　朝、壹岐丸　夕、昌慶丸

廣告

# 連絡船上陸客

十二日朝入港[illegible]丸一二等船客　福德吉、井口淡、福島德光、竹之內秀藏、藤澤榮源、伊達某寬、吉田りよ子、外人四名　二等(五[illegible]名)　[illegible]

[illegible]　寺尾猛三郎、松[illegible]　田[illegible]　向忠光、同こう、野村幸一、吉藤子、同芳子、同[illegible]、同茂雄、向乙次郎、重藤猶吉、奧村千藏、木村泰次郎、田中[illegible]、同春子、酒井武[illegible]、西尾庄七、桑田信助、[illegible]　七六名

十二日夜入港對馬丸一二等船客　一等(一一名)大森奈朝、樋口じう、大森正江、同靜子、[illegible]　衛門、常石武明、佐賀常次郎、外[illegible]　大四名　二等[illegible]

加政衛、北川七郎、淺間くわ、同千代助、前田こよ、形山初吉、木虎吉、矢野按、戶板數、戶板[illegible]、同千雄子、田口はる、川常次[illegible]、日根[illegible]　[illegible]

# 氣象日報　(十四日)

遊離狀高氣壓支那方面より今朝黃海に進出し來り[illegible]は溫好晴の所の多きも江原道[illegible]に小副[illegible]

# 天氣豫報

曇後少雨

# 京城に於ける鮮人の富

▲京城府では施設の必要上から府內に於ける鮮人の所得を調査中であるが最近富の增加に伴ひ鮮人の所得は著しく增加し[illegible]

十名、金鎭永氏や金東植氏等は一萬八千圓程度に見積られて居るから不日不動產收入に依る所得[illegible]

けで七千二百六名中村再造氏の七八萬圓を筆頭に釘本藤次郎氏の五六萬圓、三中井小林森氏等[illegible]以下七千二百六人[illegible]

---


# 總選擧

## 金鶴香水

武者で云はゞ一騎當千

大崎組商會

# 御園

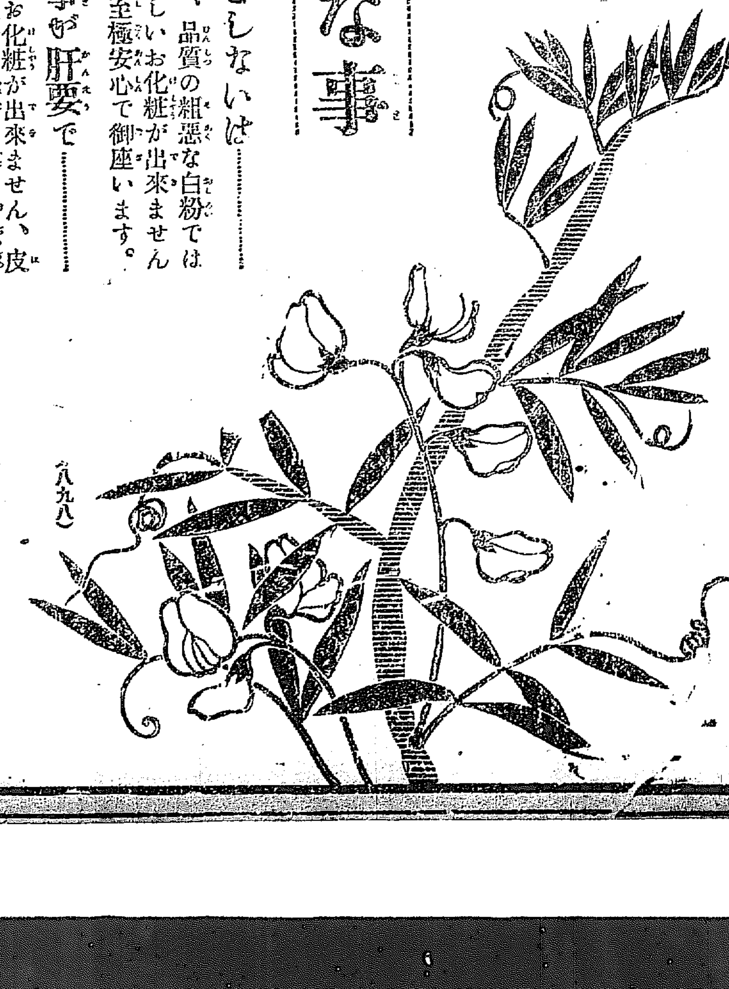
お忘れになつてはいけない肝要な事

美しいお化粧榮えのするとしないは……

白粉の善惡に關係する事は勿論で、品質の粗惡な白粉では何んなに骨を折つても、決して美しいお化粧が出來ません御園白粉さへお用になれば此点は至極安心で御座います。

皮膚を美しく整へて置く事が肝要で……

皮膚が荒れて居つては決て美しいお化粧が出來ません、皮膚を美しく整へるには、朝夕の洗面後に荒性の方は化粧水御園四季の花脂性の方は化粧水御園の露をお塗け遊ばせ。



(八九八)

本舖　御料御園白粉　伊東胡蝶園
販賣元　御料御園白粉　丸見屋商店

# りん病

急性慢性を問はず博士發見の新藥を配合せる淋滅を御用あれば全治速なり

## ルーデサック

特製品　A十個五十錢　B十個九十錢　廿個一圓　廿五個一圓三十錢　七十錢　女用一個八十錢　郵券(二錢)代用一割增　京城黃金町三丁目　山田文殊堂藥房

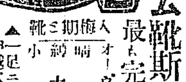
內科、小兒科　高木病院　仁川仲町　電話七一九番

# イケダ小兒內科病院

池田季雄　京城三越吳服店前へ入る旭町四丁目　電話(病院一〇三四番　自宅二三〇〇番)

# ゴム靴斯界の覇王と定評ある元祖

最も完全せる休裁優美なる本品の特長也



入梅期　オーヴァシューズ不用　A金參圓八拾錢
梅雨期　雨兼用　B金四圓
紳士用、學生用　C金五圓
小兒豆靴　各種
靴　外ニ夏期向白、赤靴

▲一足ニテモ御注文ニ應ズ足袋文數記入ハカキニテ申越次第代金引換直送ス

特約店募集

製造販賣　佐賀田商店　大阪市天王寺[illegible]三丁目

# TAKA-DIASTASE

高峰博士發見

## タカヂアスターゼ

本品は本邦人に最多數を占むる澱粉不消化に因する胃腸疾患に必要缺くべからざる新藥として多數の醫學者臨床家に依り賞用せらる內外醫學者の實驗報告書あり無代贈呈す。

東京室町、大阪平野町東詰　三共株式會社

本場　大島紬商　織元　出張　勝久支店　京城本町一ノ五五　電話九〇一番

伯爵、同しの、世子、小倉、同千代子、同節子、同大部、藤太、落合榮行、加賀美千一、井岡司、同たきぬ、同信子、大岡作、三等
淺川安親、同節子、同清子、同氏器、浦英淳、中村眞輝、同ちね、佐伯惠源、牧瀬武敏、伊藤隆吉、なか、長千ゆき、同千代、池田叶
太、吉川きみ、淺川俊介、小幡高原貞、小田三郎、赤木榮二郎、梅田芳太郎、片山和吉、北内捷、大平少、田口一、新居たま、秋山
台、川、丹女毎、梁北平、下弋子、木泪吉、同こと、司吉、野口くら、鄭友順、三等、三省、長谷川俊魯、福永猿作、星(二百九十三名)

五月の日かげ

# 伊機來翔近し
## 各準備委員の來城
## 新義州京城大邱の各著陸場に二泊せん

伊太利飛行(ズバニ氏)は北京より翼を並べ愈々近く朝鮮に來翔する事となりたるを以て陸軍省は朝鮮に於ける著陸準備委員として委員長に櫻井少佐委員に森、福士、渡邊の三中尉に任命したるが森中尉は新義州準備委員として十四日櫻井少佐、福士中尉は京城準備委員として十五日渡邊中尉は大邱準備委員として十八日何れも來鮮軍司令部と打合せ夫れ〴〵所定の任務に就く事となれり又伊太利飛行機總指揮官としてリバ大尉は十二日來城したるが十二日軍司令部に出頭日本官憲の行屆を感謝したり伊太利飛行機は最初新義州京城大邱に滯在せず一氣に內地に飛翔する豫定なりしも朝鮮に於ては各著陸場に何れも二泊する事となりたる由

# 伊機出發未定
## 靑島より北京へ向ふ
## フェラリー中尉

十二日朝北京へ向ふ筈なりしフェラリー氏は十一日夜北京駐在伊太利公使より『來る十七日迄飛來を見合すべし』と電命したるがフ氏は折返して一日も早く出發し度し都合願むと電報せり目下出發期未定なり(北京電報)

# 陸軍盛んに改造
## 一年志願兵の勤務演習は其の期間を短縮され
## 小學校の先生でも豫備將校となり得る

**一年志願兵** の服役を終りしものが豫備將校となるには從來其翌年第一次勤務演習として三ヶ月又其翌年第二次勤務演習として三ヶ月都合六ヶ月の勤務演習に召集せられしものなるが斯の如く一年志願兵時代より三年に亘り召集されては公務を有するもの其他に對し非常なる苦痛を與ふるを以て陸軍當局にては鋭意研究の結果先般第一次第二次を廢止し其期間も四ヶ月に短縮せらるゝに至れり而して此四ヶ月も一年志願兵の滿期に引續き行ふ事を原則としたれば都合一年と四月にて豫備將校となる譯なり

**京城中學校** 同高等普通學校附屬臨時教員養成所等を卒業せるものは徵兵令にて一年現役兵に服役する事に規定せられあり先般陸軍補充令の改正に依り將來豫備將校となる事を希望せば一年志願兵を終りしものと同樣に終末試驗を受け夫れに合格せば四ヶ月間勤務演習に召集せらる此勤務演習は **一年現役兵** に引續きてもよく又其翌年にてもよく又其翌々年にもよく本人の願ひにより **隨意に應召** し得るなり而して此勤務演習に於ける待遇は曹長の階級に進められ向ふに豫備役の見習士官を命ぜられ主として豫備役將校に必要なる學術科を授けらるものと心得べしと陸軍當局は語れり

# 刺殺す
## 料理屋で慘劇
## 酒の上で

五月九日午後五時頃全羅南道羅老島の料理店天野小八方に登樓せる日本水產株式會社湖鹽丸乘組員阿部數雄(二七)は同行の友人上村殺一(二九)と酒を飲む中口論を初め阿部は懷中の短刀を振上げ上村の右脇腹に突き差し刃物は腹部に達し即死させたり加害者は現場にて逮捕取調を受け居れり(光州)

# 至急電話架設の告示
## 一兩日中に發表
## 京城での架設數は約百五十箇の見當

一時二千圓前後の高値を唱へた電話相場も大分低落して目下は二階物千五百圓位、 **三四聲は** 千圓乃至千百圓の呼値にあるがさりとて實物豐富と云ふ譯ではなく不況の現在でも各方面に電話の需用者は絕えず需用者の聲は未だに絕ゐず一日も迅く電話架設の發表さるゝ事を熱望して居た折柄遞信省よりの各地割當數も確定し至急電話架設の告示は **一兩日中に** 官報を以て公表される筈であるが、其內容に付いて聞くに官報に告示すると同時に架設申請の受附を開始し本月一杯を以て締切り直に遞信局に於て申請者の查定に取かゝる、查定は一般公益に關する申込みを先とし **通常申込者** として同一加入を生ずる際には抽籤を以て公平に割當を爲す由にて至急開通申請料金は三百圓查定を經て架設確定の上納入を爲せば宜しいとの事從來の申込者にして急設加入に變更希望の者は所定の變更屆を提出すれば查定に加はる、權利を獲得し得る由で **申請用紙は** 京城郵便局に於て交附を受ければ宜しい而して京城に於ける今回の架設數は約百五十個見當の少數らしく七月中旬頃迄には查定を了し直ちに架設に着手する筈であるから幾分の緩和は見られるだらうが未だ〳〵 **此の程度の** 增加では燒け石に水の觀がある。

# 公設市場の增設を見合せて欲しい
## と……食料品商の陳情
## 代表者府に出頭
## 當業者の窮境を察して

目下組合組織中の府內食料品商六十餘名の總代として森富國太郎、下川益一、森川米吉、小山慶次、酒井好一、中井忠三、村島長次、桑原鏡、建井澄太郎、岩田直吉の十氏を **代表者に** 選定し十三日府廳に出頭公設市場三箇所增設を見合せられ度しと陳情し出でたるに依り府にては服部事務官之を聽取したるが其理由は既報三箇所の公設市場を設くるに當りては府內食料品商の **當業者は** 既に多大の打擊を受けつゝあり公設市場內に於ける賣店よりは寸毫の利得あるに非ず唯公益上の立場より或る目的に營業し居るものにして或しつゝあるに拘らず信用上止むなく營業を繼續しつゝある際更に公設市場 **三箇所の** 新設は多大の脅威を及ぼし食料品商の死活に關する問題なるは云ふ迄もなく現下財界の不況に處して段々ならぬ影響を受けつゝある際なれば吾等の窮境を洞察し市場增設計畫の實施を當分見合せられたしと云ふにあり素より聞答すべき筋にもあらず服部事務官より **其陳情を** 諒とする旨

# 洋物雜貨も低落
## ソロ〳〵廉賣をはじめる

綿絲綿布落米價低落に伴れて諸物價の下落は逐日明かになりつゝあるが京城米價の如きは幾分騰貴し上つて強氣に見えたが大勢は逐日下向きのヂリ〳〵安に落ち初めてゐる朝鮮でも吳服商が先づ始めたが素早い商人は京阪地方の吳服類投賣り品を京城で廉賣に附してる程である本町の平田洋物雜貨店では十三日から洋物雜貨日用器具一切に對し正札の一割乃至二分引の大廉賣を始めた、是は工賃の關係で此方面に **明瞭な** 影響は見へないもの、一般に低落するのは動かすべからざる事であらう物價下落は逐日京城へて行く……朝鮮全體へ濃厚の色彩を加へて行く

# 剃刀で自殺を企つ

安東縣大和橋通り五丁目居住朝鮮人李榮は十一日午後十一時頃自宅にて鋭利なる剃刀を以て頸部を搔き切り自殺を企てたるも死に切れず苦悶中を家人發見し大騷ぎを爲し土居醫院に急報し應急手當を受けたるが生命には異狀なかるべし原因は極度の神經衰弱なる可しと(安東縣特電)

# 朝鮮僧侶の內地視察
## 朝鮮佛教の復活を期する爲

朝鮮各寺僧侶九名は近く朝鮮出發內地各宗佛教視察の途に上る事となれるが內寺總本山の **奉恩寺の先發** として十一日朝入京し十一日下關着直に上陸せり兩師は交々語る『朝鮮には三十二本山あれども三宗派を除く外は儒教の壓迫を受け人界と隔離されて居る朝鮮宗教の全盛時代は高麗、新羅時代で鮮民の思想も統一して居たが **儒教** が入つて來て朝鮮宗教を排斥する樣になつてから思想界は兎角擾騷勝ちである從つて思想界の動搖は決して昨今に始まつた事でないと同時に其原因を儒教になして居る鮮人思想界の動搖を救ふのは矢張朝鮮宗教でなくてはならぬと云ふ事から今回內地各宗佛教狀態を **視察** の上統一した朝鮮佛教を復活させる考へである云々(下關電報)

# 火事が增えた
## 四月中京城府の火災調

第三部の取調にかゝる四月中京城龍山に於ける火災數は廿九回に及び區域管轄に據ると昌德宮一、本町署一四、鍾路署六、東大門署三、西大門署二、龍山署三にして燒失戶數十八戶で昌德宮一、本町署五、鍾路署三、東大門署三、西大門署二、龍山署七である又火災損害高は二萬八千九百四十四圓で本町署一萬二百四十二圓鍾路署三百七十二圓東大門署五圓西大門署千三百五圓龍山署一萬七千二十圓その重なる火災は太平通聚成燒失の損害一萬圓廿四日麻浦洞火災三戶燒失一萬五千圓で昨年四月の廿七回損害價四千七百七十圓に比べると火災數に於て二回損害價格に於て二萬四千七百七十圓の增加を示して居ること



# 氣象

上海南方低氣壓は稍東北に進行し來る模樣なれば明日は中部以北は序上天氣不良となるべし

| 溫度 | 攝氏 | 華氏 |
|---|---|---|
| 十三日正午 | 二三、七 | 七四、七 |
| 同日最高 | 二三、九 | 七五、〇 |



# 內地人側の富裕者調べ

……のみに依る所得年收一千圓以上の者だけでも五百三十一人を算し內一萬圓以上の所得ある者外多數だらうとの見込である、試みに內地人側を調べて見ると京城も案外富裕者が多いやうだが拔けて大きいのがないのは怎うした譯か

# 朝鮮體育協會主催 陸上大競技會番組
## 來る十六日龍山新練兵場にて舉行

來る十六日龍山新練兵場に於て行ふ朝鮮體育協會の朝鮮陸上競技會は咸興其他の遠方よりの參加申込もあり非常の盛況を呈すべく各委員は過般來嚴選を重ねつゝありしが參加選手の番組は十三日附發表せるが第一回百米豫選八回第二回千五百米豫選三回第三回廿五哩マラソン出發(午前九時半)第四回二百米豫選九回第五回十哩マラソン出發第六回八百米豫選五回第七回十哩決勝點に入る(午後零時半)第八回走幅飛豫選第九回一萬米豫選第十回四百米豫選第十一回百米第二回豫選第十二回二百米第二回豫選第十三回五千米豫選二回第十四回四百米リレー一回第十五回廿五哩マラソン決勝第十六回立幅飛棒高飛決勝第十七回五千米豫選第十八回一萬米豫選第十九回千五百米決勝第廿回八百米第二回豫選第廿一回二百米決勝第廿二回四百米第二回豫選第廿三回百米決勝第廿四回八百米決勝第廿五回四百米決勝第廿六回八百米リレーにて參加選手左の如し

### 百米突 第一回豫選(九人)

綱十宗一(滿鐵)、田宮利吉(滿鐵)、門田見耕作(龍隆)、龜井勇夫(高商)、植田泰一(高商)、北勝太郎(成興)、薛有諒(工專)、金星煥(鮮銀)、久保武孝三助(滿鐵)、鄭巳春(滿鐵)、吉屋武(鐵隣)、朴尙虎(成興)

森水次郎(京通)、白水善太(京中)、中島弘次(高商)、日高山俊(青年會)、岩崎芳昌(龍小)、堀內良美(工專)、鶴谷許、坪島房太郎(高商)、樋口時次(滿鐵)、朴長吉(滿鐵)、野崎眞三(京日)、橫山英(京中)、眞鍋龍雄(教養)、奧村新一(高商)、中川道郎(滿鐵)、小田部正誠(高商)、土山宗作(高商)、見島泉好(滿鐵)、安田良識(龍小)、江口晴(工專)、橫田茂(工專)、平田德郎(高商)、庄司熊吉(滿鐵)、滿田芳男(龍隣)

### 二百米突 第一回豫選(九人)

崔榮鎔(滿鐵)、梁川項孝(教養)、伊藤昇(高商)、大塚隆興(京中)、朴定杰(成興)、松村正彦(商銀)、金小允(滿鐵)、黑崎一郎(青年會)、鹿子木耀太郎(京中)、金奉學(滿鐵)、木谷光三郎(高商)、甲斐孝德(京中)、高見初興(工專)、金点東(滿鐵)、中村松義雄(醫專)、沼田大次(滿鐵)、金日秀吉(京中)、吉森秀吉(京中)、三原時雄(高商)、中島光武(日華)、吉澤源吾(京中)、宮崎尹(滿鐵)、李得、酒木高明、岡田大二(高商)、伊藤矢三郎(教養)、高成田(滿鐵)、赤塚止(京中)、崔明山、大島惠一(高商)、細野孝凡(鐵隣)、李秀巳(成興)、崔明山、平田五郎(高商)

寶島時次(滿鐵)、山縣芳昌(龍小)、宮林清、中川稔(高商)、野崎新一(滿鐵)、金三、寺田眞徹(東日)、見島正雄(京日)、安部松次(滿鐵)、伊東良識(龍小)、太田昇(高商)、眞邊淺雄(滿鐵)、山本能雄(教養)、百々正誠(高商)、中島巳之助(滿鐵)、鮎井勇武(高商)、庄司光次(日華)、上田熊吉(滿鐵)、綱干巳一(滿鐵)、岡田宗一(滿鐵)、田中繁治(京電)、岩垣泰(滿鐵)、酒本高明(高商)、德永正次(滿鐵)、千葉武三(滿鐵)、黑崎一郎(青年會)、香取寬、荒木太郎(京電)、崔榮慶(滿鐵)、大久保之助(平壤)、前田光吉(京電)、許口三吉(高商)、松島松雄(滿鐵)、金小允(滿鐵)、日高山俊(青年會)

大塚宗隆興(京中)、金昌培(京鐵)、金龍云(滿鐵)、滿佃男(鮮銀)、韓參照(成興)、朴積芳秀(鮮銀)、許成用(滿鐵)、久保小智(鮮銀)、高見助(工專)、金方學(成興)、金川興(滿鐵)、朴上奉學(滿鐵)、井木孝文(高商)、貝木定杰(成興)、金六點二(教養)、任川作卯(滿鐵)、早日實(鐵隣)、朴方虎(成興)、金尙哲(滿鐵)、村保次(工專)、權浩榮(成興)、崔卜斤向(滿鐵)、郝選孫(工專)、松下浩(成興)、朴長一(滿鐵)、原田圭吉(商銀)、豐田一(工專)、山崎宗作(鐵隣)、蔡清征(工專)、金有諦(成興)、池屋崎(工專)、澤島永(京中)、村三龍太(成興)、吉世楨(京中)、偉鼓在五陽(成興)

### 廿五哩勢揃出發(午前九時半)

### 千五百米突 第一回豫選(九人)

松村正彦(商銀)、安達藤一郎(永登浦)、日高孝次(鮮銀)、西山石橫(工專)、高東、金卜星、權同、大賀巳、郎浦忠、永田、山崎、五十嵐介、金撤(滿鐵)、金龍雲、竹村、本間、宮崎、甲斐、島上、井上、姜、高、李、安比留、崔、栗原、山岸

### 十哩競走出發(十時三十分の豫定)

# 金冠を戴いた
## 朝鮮關係の人々
## 佐々木牧山山崎諸氏の當選
## 總じて良好結果らしい

**清き一票を** 投ずべきか總選擧の後の日なる五月十日は各地一齊に國民の輿望を荷つて選良がそれ〴〵定まる日であつた東京特電や各地よりの飛電は一昨日以來刻々選擧の結果を報じて來るが **何人に** 右より佐々木志賀二氏、牧山耕藏氏、山崎猛氏

るのも愉快と云へば。朝鮮關係の候補者中で勝利の金冠を頂いたものは牧山耕藏、山崎猛、佐々木志賀二、中野正剛、松山常次郎、野田卯太郎等の諸氏で荻田岩朋、山道の諸氏に就いては **本稿締切迄** には來電が無いので判明しなかつた。京畿道第二部長佐々木志賀二氏は鄉里岡山縣第三區より立候補し國民黨の小橋前代議士を坂に兵庫縣第十二區より立候補せしいて最高點で當選更に朝鮮新聞社長牧山耕藏氏は長崎第六區で樂々と當選した相で十三日附本社宛に左の如き謝電があつた『御蔭にて六七六九票にて當選次點者無し』又元本社理事山崎猛氏は鄉里埼玉縣第四區より立ち **最高点にて** 當選更に龍山黃海道長松山常次郎氏も當選したと云ふ此外現遞相野田卯太郎氏も福岡縣第十二區で當選し朝鮮關係の立候補者の成績は總て良好らしい

**番狂はせも** 面白く……隆二、高木益太郎、村野常右衛門等の前代議士が落選したなどの一般を鳥瞰すると政友會國民黨の野黨側が案外有利で寧ろ政友會が意外の惡結果を來してゐる

# 流感慢性となる
## 朝鮮各地方に散發
## 內地では一日平均百七十名死亡
## 平壤聯隊にも三十名

初夏に入ると共に世人は一般に流行性感冒を忘れたるもの、如く昨今流感を口にする者殆んどあらざるも實際は夫れに反して朝鮮各地に今猶散發し十二日の如き平壤步兵第七十七聯隊に三十三名の新患突發したる事實あり其他軍直屬部隊にも卅九名の患者あり內死亡者二名を出すも容易に終熄を見るに至らず內地の如きは一日の新患平均千五百名死亡者平均百七十餘名を日々出しつゝあり七日現在各師團中患者の多きは第一師團の三十名第六師團の百六十名、第八師團の三十八名第十五師團の十五名第十七師團の三十三名等にて其他地方側共に猶猛威を振ひつゝあるもの、如し今や流感は慢性化せり虎疫黑死病の如き急性の病に對しては世人は戰慄するも赤痢腸窒扶斯等と同樣慢性なる此等病疫に至りては世人は油斷する傾きあり而も最も死亡率の多きは虎疫黑死病等にあらずして實に流行性感冒なるを記憶せよ漸次盛夏に向はゞ寒冷の差より流感に變じ急性肺炎を併發し斃るゝもの續きを保せざれば此際一層の注意が肝要なりと當局は語れり

# 警部補廢止は訛傳か
## 某警務當局は斯く語る

內地では六月一日より警部補廢止を斷行するので朝鮮に於ても早晚同一の方針に出づるならんと傳ふる者があるが之に關して **某警務當局者の** 語る處に依れば恐らく右の說は何等かの誤傳ならむ內地に於ても一旦警部補制を廢止せるも實務上の利害より考慮打算の結果更に明治四十三年其制度を復活して現今に至つた者で實際執務上から警部補の必要なるは多少警察界の事情に通じた者の思考する處である、然るに今更突如之を廢止しやうとは思はれぬ又何等 **廢止の理由** もないやうである、尙更警部補の警部昇進は總督の點からも事情が許さぬ尤も內地の警部補手當は地方費より支出し朝鮮に於ては國庫支辨し居るの相違があり總ての點に事情を異にして居る、朝鮮に於ては縱令內地に其議があるとも早計に朝鮮が之に倣ふ譯には行かぬ、然し恐らく事實ではなからうと思ふ、萬一其れが事實としたならば **內地から豫め移牒があると思ふ** 未だに其事のないのに見ては虛說であらうと言ひ得る

# 興味ある懸賞
## 東京大相撲勝負豫想

東京大相撲夏場所は十五日より開場に付左の好取組十二番を選び勝負豫想を募集す

| | |
|---|---|
| 鳳 | 大汐 |
| 對馬洋 | 大錦 |
| 清瀨川 | 阿蘇嶽 |
| 源氏山 | 逆鉾 |
| 小牛田山 | 阿久津川 |
| 福柳 | 兩國 |
| 千葉崎 | 三杉磯 |
| 栃木山 | 常の花 |
| 紅葉川 | 藤の川 |
| 大の里 | 大門岩 |
| 射水川 | 若葉山 |
| 東雲 | 摩耶颪 |

右十二組の取組をはがきに認め勝力士の肩に○、引分は×、預りは△を附する事▲勝負は總て協會發表の勝負付に據る事▲最も多く的中せる者より順次等級を附し左の賞品を呈す但同點者多數の時は抽籤に據り又右十二組の中顏合せなき時は夫れを除去して計算す▲締切は五月十五日正午▲はがきの表面には必ず京城日報相撲懸賞係と明記する事

賞品…◎…

▲一等一人銀側懷中時計一個▲二等二人上等反物一反▲三等三人上等置時計一個▲四等十人上等卷煙草一ボール宛▲五等二十人鎖袋一個宛

# 初日取組

東京大相撲夏場所初日取組左の如し(東京特電)

| | |
|---|---|
| 大の高 | 御西山 |
| 若葉山 | 浦見潟 |
| 土州山 | 友の浦 |
| 琴け浦 | 鞍ヶ嶽 |
| 白岩 | 鶴ヶ濱 |
| 小牛田山 | 大門岩 |
| 黑瀨川 | 釋迦嶽 |
| 大鳴門 | 蓬の矢 |
| 若湊 | 兩國 |
| 藤の川 | 九州山 |
| 紅葉川 | 東雲 |
| 阿久津川 | 大の里 |
| 阿蘇嶽 | 逆鉾 |
| 清瀨川 | 摩耶颪 |
| 三杉磯 | 福柳 |
| 射水川 | 源氏山 |
| 大湖 | 宮城山 |
| 千葉崎 | 駒泉 |
| 大戸平 | 栃木山 |
| 矢筈山 | 大錦 |

# 列車妨害取締

京管局にては人爲的に阻害する線路障礙及び列車妨害に對しては從來と雖も警察官憲と協力嚴締を爲し來れるも今後一層之が取締を嚴にし此種事故の絕滅を期すべし

## 運動界

# 京日コート開 廿三日に延期

本社のコート開き庭球大會は來る十五日舉行の筈であつたが都合に依り更に延期し來る廿三日日曜午後より盛大に舉行する事とせり

# 京管野球戰

京管局各課對抗野球試合は十二日以て豫選を終りたるを以て十三日午後五時十分より決勝戰を行ふ、組合は經理課對工場龍山驛對南大門驛にて工務課は抽籤の結果不戰勝者となれり

# 地方法院庭球會

京城地方法院庭球部では來る十五日春季庭球大會を催すべしと

# 濱 新生劇壇 一行乘込

今回東京から、狩館に出演する新派劇壇新生劇一行は今朝乘込み花々しく町廻りをしたが久方振りの新派劇の訪れなれば開演中は定めし大入を呼ぶであらう

▲黃金館 十四日より新寫眞に替へ▲實寫『チエルトの風景』▲喜劇『ボークスの脫獄』▲新派活劇『……むら』全四卷▲連續活劇『南山血染の秘密』全五卷

▲喜樂館 十四日より新寫眞に替へ▲實寫『玉川の鮎漁』▲活劇『……』全二卷▲人情劇『……』四千呎▲新派悲劇『牡丹のお銀』全六卷

▲大正館 十四日より新寫眞に替へ▲實寫『九代目市川團十郎……』▲喜劇『……紳士』▲新派悲劇『親心』全四卷▲人情劇『……』六千呎▲……『……松』六卷

# 鮮人內地觀光團

京畿道の鮮人內地觀光團一行は總督府橋次郎氏引率の下に十三日午後七時廿分南大門驛出發內地に向へり

# パンク止液 販賣開始
## 本社代理部で生娘印の

本社代理部で販賣を開始したクラウン商會製造生娘印パンク止液は遞信省其他に於て試驗の結果非常に好成績を收め充分の効果を發揮せられた優秀藥液で如何なる大きな穴をも防止するクリームは在來の此種の物と比較にならぬ。自轉車には一罐、人力車には二罐・自動車には八罐を注入すれば直ちに完全に修理し得るので長途の旅行者や愛輪家には極めて天來の福音である注意書を一讀すれば何人にも直ちに使用し得る至極調法な藥液です。

# 女學校宛に不穩文書
## 嚴重取調中

私立淑明女學校宛五月八日附の封書中に不穩文書封入しありたるより該學校當事者は警察へ屆出で目下嚴重取調中なりと

## 忠南地方費豫算に就て（四）
### 時實知事談

**教育費** は殆ど前年度の施設と大差なきも簡易實業學校は從來入學志望者甚だ少數にして新設の必要なきものあるを認め公州及牙山を廢し當地方の須要に應ぜんが爲め鳥致院簡易農業を商業に改め大田簡易工業に商業科を附設したる爲結局職員の增員を要したると共他一般給與の增加に伴ひ約一萬三千圓を增し教育補助に於て既設普通學校職員臨時手當及び物價騰貴に伴ふ經費膨脹の一部補助及び新設普通學校經費不足額を新に計上したると公立小學校は從來一校六百圓宛ての國庫補助中より各學校を實際諸給與に關し補助したる殘額は主として臨時必要已むを得ざる費用に充て成べく有効に使用せむことを期したりしも本年度に於ては一校に對する國庫補助千圓に增額せられたるに拘らず殘餘を生ずる學校僅に二校に過ぎず其額亦僅少なるが如き實況に在るを以て設備不完全にして之を普通學校に比較して其の懸隔甚だしと認むべき學校に對し必要なる敎辨物を設備せしむる目的を以て一校百五十圓十校分を計上したる外敎員學事視察旅費の補給敎員講習會出席手當補助國語講習會補助の如き大々多少の增額を行ひ結局豫算額に於て約五萬圓を增加せり

**衛生費用** は大體に於て前年度に踏襲して物價騰貴其の他自然の增加を計上したるに過ぎず只衛生補助中改良井戸に對する補助を增額したると共に隔離病舍建築設備補助は年々一ヶ所六百圓を計上し來りたるも將來速かに各郡に普及せしむる方針を以て本年度に於ては二ヶ所を建設せしむる計畫を樹て同時に其の補助率を增加せり

**地方改良事業** 目下世局に際し民心の開發地方の發展の必要なるは多言を要せず依つて本年度に於ては補助奬勵中に特に五千八百圓を計上して之が經營に充つることとせり其の中重なる事業は各郡に於て面職員地方青年及有力者等を會して講習講話を行ふこと及其の實況就中內地優良町村の實績及道內優良振興會の狀況其の他本道施設事業の方針並に地方隆盛の實蹟施すべき事業の內容等を印刷配付して其の趣旨の徹底を計ること優良面長及び優良振興會長を選び旅費を補給して內地優良町村の視察を爲さしむること優良振興會に對して選奬を行ふこと各郡に於て振興會聯合總會を開かしめ施設上の連絡統一を計ると共に相互砥勵競つて改善を圖らんこと等之なり尙內地人議員に對する朝鮮語普及の効果が各種の施設に少からざる影響を與ふるは最も觀易き所なるを以て特に朝鮮語奬勵の目を設け道部講習會講師に手當を給し一層徹底的に之が普通を期することゝしたり以上の外別に時世要求に應じ社會政策的の精神を加味し補助費中に公州、林川、瑞山三救濟團體に對する救濟事業補助費を前年度の百圓に對し五百圓に增加計上せり

**歲入增加理由** 以上歲出全般に對する各事項別豫算の大體を說明せり之に對する歲入を概言すれば既述の如く豫算總額に於て前年度に比し三十五萬圓の增加を見たる結果之が歲入の計畫負擔の問題亦容易なりと云ふを得ず而して之等增加に伴なふ主なる財源としては新に加ふ市稅地稅附加稅に於て從來地稅一圓に付十錢なりしものを一圓五十錢に高め戶稅五十錢なりしを三十錢に高め同時に家屋稅を戶稅の增加率迄增徵することを得ることゝなりたる結果前記府加額は前年度收入に對する自然增加によるもの、外之等諸稅に按排せざるべからざること、なれり而も現時一般の商勢は農產物の價格暴騰に因り土地收益著しく增加し來りたる地稅は之を其他の諸稅に比し比較的負擔の公平を期し得べき關係あるにより增稅は先づ之を地稅に求むるを適當と認め前記歲入の增加は先づ地稅附加に制限迄增徵することにより之を求むるの方針を立てたりしも其の結果戶稅に在りては制限に達せざること二十錢一圓三十錢を賦課するに過ぎずこは後日負擔に對する目下の餘裕たると共に後年事業經營の準備たるべきものなり要するに急激なる時世の進展に伴ない敎育勸業土木衛生救濟等の施設は益々多端となり從つて之を要する經費の增加は勢ひ已むを得ざる所にして一般民衆は須らく之に對する相當の覺悟なかるべからず財政の計畫事業の經營は固より愼重の注意を要すべしと雖も猶ほ退嬰姑息に陷るが如きは最も忌むべきことに屬す要は官民共に克く時世の推移を察し諸般施設の本旨を領得し相協けて產業發達と民衆福利增進とを圖らざるべからず（完＝公州）

## 擴張すべき運動場
### 運動勃興の氣運に促された仁川の急施設

漸く勃興の氣運に際會せる仁川の運動界に完全なるグラウンドを持たぬのは頗る遺憾の極みであるが曾て前府尹時代から計畫された運動場擴張工事が漸く其一部として

**近く着手** せらるゝ運びとなつてゐるのは先づ幸ひとしなければならぬ最初の計畫は總費約三萬圓を投じて理事廳官舍の下迄擴張する豫定であつたが費用の關係上僅に一萬圓を投じて先づ第一期と云ふべき急施設をする事になつて居る內容計畫に就て云へば

**西北の隅** の高段を切り取つて之を南方の低地に埋め合はすると云ふので西北から西にかけた崖を廣い處で約九間狹い處で五間を切り取り南の方へ廣い處で二十六間狹い處でも約十五間を出して擴張するのである此の結果による北側の端が東西に四十二間南側も

**亦同樣で** 西側が南北に五十三間東側が五十七間此の面積二千三百二十五坪で現在の一千二百餘坪に比し約二倍となる譯である之ならば野球でも打球に對する相當完全なる守備が出來る樣になる若し對角線に球を投ずる時其の距離は七十一間に達するから差當り不自由はないことなるだらう

**實用面積** が二千三百餘坪の外に觀覽席を今の斷崖の切取り上部に作る之は崖上に適當のノリを造つて約七尺位の幅で三段に設ける其の周圍には五間幅位に植樹もする今の周圍の砲林丘上は鐵條網を取り除けて自由散策區域とする其他運動場入口には石段を設け或は小道を作る更に

**運動場の** 適當の場所に便所並に倉庫の一棟が建られることゝなつて居る秋のシーズン迄には此の計畫が遲くとも完成する見込みで近々着手の筈であるが遺憾乍ら玆に府尹の辭任と云ふ問題に遭遇して居る順延と云ふ事それは運動場費として

**指定寄附** された一萬圓も目下焦眉の急に迫つた仁川病院の機械購入費に充當すべく餘儀なくされる事情があるこの事は府尹辭任の上此の病院醫療機械購入費の捻出が出來れば運動場擴張も直に著手するが今の處暫く見合せて雲行きを見ねばならぬことは

**遺憾千萬** である何れ問題として研究せらるゝだらう一刻も實現の期の早からんことを祈る（仁川）

## 湖南自轉車競走大會
＝出場選手歡迎＝

期日 五月十六日（第三日曜日）
場所 全州德津池畔大レース場
申込 競技參加希望者は住所姓名明記の上來る十四日迄に群山日報全州支社京城日報全州支局若くは本社宛至急申込まれたし
主催 群山日報全州支社 京城日報全州支局

## 風薫る邊に賑うた祭
### 平安神社春季大祭

若葉に風薫る十日午前十一時より平安神社春季大祭は執行さる、豐田社司以下の神官により莊嚴なる祭典の式終れば文武官其他の代表有志者玉串を捧げ軍隊、各學校生徒も參拜あつて午前十一時四十分に滯りなく式を終る

**年中行事の一** と數へらる、此の日は天氣晴朗で各戶業を休み國旗獻燈を掲げ舊市街の四辻には大國旗や獻燈もの賑々しく飾られてある午後二時頃より本町、滄町、常盤町、榮町等の大屋臺が漸次賑やかに繰出される、又一方午後二時を期して神社境內に於ては石燈籠、手洗鉢の設立式とあつて撤餅の式がある

**午後四時より** は神輿渡御の式が行はれて神饌もます賑しの音神々しく豫定の順路を練つて午後七時半頃御旅所に御安着、一夜茲に還宮し奉て又祭典があり夜は野外活動寫眞などがあつて非常に人出が多かつた、市中の夜は各所に絃歌の聲なども交つて不景氣や金融梗塞の問題なごはケロリと忘れたかのやう、斯くて春の夜は更けて亦十一日の御祭典となる（新義州）

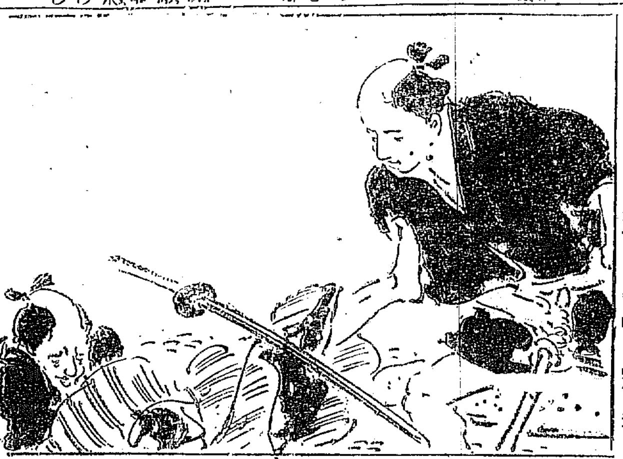
**大邱研究會協議** 大邱研究會は十二日午前十時より大邱府廳に於て協議會を開く協議事項は大邱鎭海間鐵道敷設並に水力電氣株式會社企業其の他にして京城の某實業家も來邱出席したり（大邱）

**告別唱歌會** 釜山第一尋常小學校に多年唱歌課の專科教師川村四郎氏は今回其の職を辭し歸國する事となれるが十三日午後一時より同校講堂に於て多年訓育せる兒童に對する告別の辭に代へるに盛大なる唱歌會を開催せり（釜山）

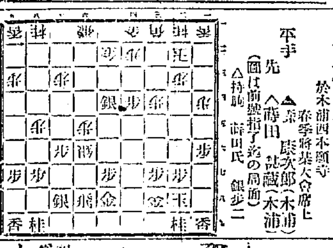
**月掛貯金開始** 全州三南銀行は開業以來頗る順調の好成績を繼け居れるが今回三年乃至五年の据置月掛貯金を開始し行員をして集金に廻らしめる便法を設けたりと（全州）

## 俠客奇譚 祐天吉松 第二五席
### 神田伯山講演

伊『貴樣は何家の吉松と云ふ仲間か』吉『左樣でございます』伊『背中に繁縛脫の文身のある元兩國の巾着切であつたさうだな』吉『ヘエごうも恐れ入ります』伊『イヤ〱恥るに及ばぬ、過ちを知つて改むれば罪は消ゆるもの能く改心をして眞人間になつた、時に承はれば立花金五郎なる者を仇の敵と狙ひ居る由ぢやが、まだ出會はんか』『ヘエ殘念ながら未だ出會ひません』伊『ウム何れに潜み居るか、憎い奴だ、其方は四宮から稽古を受け、天晴れの腕前ださうだな』吉『ヘエ先生の御丹誠に依りまして少々ばかり覺えましてございます』伊『桃井、是れに控ねて居る熊太郎はお前が自慢の弟子だな』春『左樣』伊『吉松は四宮隼人が自慢の弟子、自慢と自慢で立合して見たいが何うぢや』春『一應熊太郎に申聞けました上御挨拶を致します……熊太郎何うだ』御家老武田樣の御意、嫌と云ふ譯にも行かない 熊『委細承知いたしました』伊『四宮、吉松は良からうな』隼『宜しうございます、吉松氏のお對手をいたせ』吉『畏まりました』双方お受をしたが 熊太郎考へた 熊『どうも濟らないな、武士たる者が仲間に勝つても當然だ負ければ恥辱だ、勝つて當然、負ければ恥辱と云ふは隨分割の惡い立合だ』と云ふに引き換吉松は喜んだ 吉『武士に仲間が負けたつて當然、勝てば大層な譽まれだ』と思ふから、伊『扨吉松、下郎は物に張合がなくては往かんものである、其方が負けたらば金子を五兩遣はす』吉『ヘエ負けまして御褒美を頂けますか』伊『ウム負ければ五兩、勝てば十兩遣る』吉『ヘエ……』吉松喜んだ、勝つても負けても金が貰へる、どうせ汗を掻くなら勝て十兩貰ひたいと云ふのは腹の中、吉『有難う存じます』伊『熊太郎』熊『ハイ』伊『其方は武士である、武士たるべき者は試合に勝つて金銭などを得ると云ふ、卑屈の事は好まんであらうな』熊太郎心中に武士だつて浪人だつて金は欲しい、けれどもイヤお金が欲しうございますとは云はれない、熊『左樣でございます』伊『然らば勝ても負けても貴樣には一文も取らせん』熊『宜しうございます』伊『然し物には張合と云ふものがなければ往かんもの、持古したが勝たば此の印籠を遣はす』熊『有難う存じます』庭へ立ち出で二人ながら手拭を取つて鉢卷きをなし、襷十字に綾なして左右に分れ、素面素籠手、竹刀を取つて互に睨み合つて居ります一同の者此の勝負如何あらんと見て居る中に、エイヤッと双方氣合と共に立ち上がりポン〱と十二三合打ち合つたかと思ふと『お面ッ』と一聲、吉松が打ち下すを心得たりと熊太郎ハッシと受けたが、吉松に力があるから籠手が下がつたので脳天を打たれ 熊『參つた』吉松は竹刀を其れへ投捨て 吉『どうも有難う存じました、仲間の私に勝を讓つて下さる貴所のお心、實に忝いお方だ』と思召し、苦い顏をして 熊『何と云ふ氣早な男だ、小便はしないか……』と思つたが、武田伊賀守殿を相手に張合が抜けたからと云つて褒美に不服を云ひもしないで、此方が勝てば武士の十兩はおあずけ、負ければ……へて御笑ひになり 伊『イヤ吉松、サア約束の通り十兩此の五兩は別に褒美として遣はす、熊太郎其方が勝ては當然だが負けたから面白かつた、是は遣恨と云ふもの、遺恨遺恨を含んではならんぞ、之を遣はす』熊太郎に印籠を下すつた、雨降つて地固まるの譬へで、其れから熊太郎は御酒を頂きながら、四方八方の話に興を添へ、其日は皆お暇りになりました、武田伊賀守樣お屋敷へのお使ひは吉松で無ければならないやう、行く先々に吉松を御重寶がられ、又四宮から武田樣お邸へ行くにも吉松が御庭前へ廻して、自身お會ひになつては樣々の物を下さいます。



## 將棋新手合（三）
於木浦西本願寺 春季將棋大會席上
平手 先 ▲京 康次郎（木浦） △木浦 許藏（木浦）
（圖は前號指了迄の局面） △持駒 許田氏 銀歩二



△六三歩 ▲七九角 △六五銀 ▲五七銀ナル △六九飛 ▲六三飛（リ） △六四歩 △六二飛（ヌ） △七九飛 ▲五八成銀 △七七銀 ▲五六歩 △五九歩 △六八金 △同銀 ▲同成銀 △七七飛 ▲六六歩（ル） △五五角 ▲三三銀 △六六角 ▲五三金 △五五銀打 ▲三一金（以下次號）

清水木六段評
▲（リ）六三飛上りは惡手なり此處八八角なら五七金七八馬にて充分なり又五八成銀七九飛六八金三九飛七八金にてよし
▲（ヌ）六二飛は最早三三飛と指す處なり
▲（ル）六六歩は緩漫なり直ちに六六銀と打ちて金を造りて決戰する處なり
△（チ）五五角打ち良手なり


ノメバヨクナヲル 婦人靈藥 女の命 ハガキニテ申込次第スグ送ル
京城旭町 富木兄弟商會



皮膚科（診察夜九時迄） 皮膚病 微毒 淋病 入院隨意
京城明治町二丁目 佐藤醫院 電話一七三參


五月十五日（舊三月二十七日） ▲土曜日 ▲癸酉 ▲四緑 ▲佛滅 ▲庚辰 ▲巳 ▲大安 ▲定

▼四緑▲怨にならぬ事ある日
▼五黃▲財貨の月 保證紹介禁物
▼六白▲平運の日 普事植樹は吉
▼七赤▲餘所々々しき事ある日
新事手控明は女との交渉を忌む
▼八白▲嫌な事捲き込まる、日
▼九紫▲情誼厚く大望叶ふ日
▼一白▲生氣潑剌の日 轉居開業入學名弘會談婚禮電氣藥等萬吉
▼二黑▲目先の見わぬ事ある日 普事何にまれ意の如く進むべし
▼三碧▲同情集まり諸事成就す 普事は吉 取引用心せらるべし 爲すも吉 待人遲くより來る


光澤と型を誇る、お花見時に
P式改良 高等總ゴム靴
◇實物見本二割引 ◇靴下を無代進呈

P式總ゴム靴が實際耐久力が三倍以上で價が三分の一で履き工合が良く綺麗に浸水の恐れなく到底皮靴の及ばざる事は世人一般に認むるは事實である、そこで當工場に於ては從前の製品に尙一層の改良を加へ全く他店に倣る完全無缺の品を製作販賣することなつた殊に光澤及型は苦心研究の結果歐米の技術を用り高價な皮靴も及ばざる體裁高尙優雅且つ強靭なる事一ケ年以上は保證す其の實力は宮內省遞信省鐵道院管理局營繕等を始め大會社學校大工場は殆どP式を御買上の光榮を賜はれり今回弊商會は業務擴張のため同所へ移轉し茲に於て汎く世人に實物廣告を成さんと萬人向きの特製紳士用紳士短靴製作費一足五圓五十錢なれ共移轉披露記念の爲め壹千名限り特製靴下も景品として提供す御希望者は割引券を以て御足宛無代進呈す實に奥飛なる大壯舉なれば賣出早々店頭市をなし註文殺到の上今直ぐ申込あれ景品同封割引値段を以て受付順に後金引換小包送料實費にて送る
全國に特約販賣店 大募集（保證、資格等上小使用等全部品揃ひ註文に應ず）

移轉披露祝 二割引券（靴下引換券） 一人註文五足迄 日米商會ゴム部

P式總ゴム靴製造販賣元 東京市本鄉區本鄉五丁目拾五番地 日米商會ゴム部 電話京橋一四一番 振替東京五一九六五番



資本金壹千萬圓 頭取 安田善三郎
株式會社 百三十銀行京城支店
京城本町二丁目 電話長五八番 一九四番 振替貯金京城一二三番
銀行一般の業務特々御便利に御取扱申候 爲替取組先は內地各方面並朝鮮樞要の地に有



一日毎に見へる効めが
梅毒、りん病、ひえ 一切除去 ものは
毒掃丸
ばい毒、りん病、ひえ、たい毒、ひよう毒、そう毒、かんそう、しようかち、るいれき、よこね、骨がらみ、毛髮脫落、頭痛、便秘逆上其他梅毒性諸病世俗四十八瘡と稱する病に大効あり
本劑一名一月丸と稱す如何に其効能の確實なるかを知られよ
定價 廿五錢、五十錢、一圓、一圓五十錢、二圓、三圓 送料小包二錢乃至十二錢
本舖 東京神田花房町 大阪高麗橋東 山崎帝國堂



衛生家農家必需品
京畿道警務部御許可 總督府並ニ警察署衛生係御用品
蠅滅 一名ハイトリサン
一ケ 金二十錢 送料十五ケ迄 金十八錢
蠅の蝟集する處へ撒布せば本劑の偉効驚かさるを得ず其他蚤、虱、ピンデ、油虫もにも有効
京城日報社代理部 振替京城二〇〇番 電話長六千九番 同局內十九番 同 廿四番



◎ミツワ家庭藥 みつわ・かていやく 處方を明記して其內容を公開せる
ミツワ家庭藥は內容を明瞭にして徒に萬能を說くが如き賣藥に非ず現代智識階級の要求に應ずる唯一の治病補助機關也
特長
一、處方を明記して內容を公開す。
一、處方的確にして奏効顯著なり。
一、製劑精確にして効力一定不變なり。
一、藥品純良にして中毒の危險無し。
一、容器完全にして變質の虞無し。
一、內服藥は錠劑にして服用し易し。
一、價格低廉にして永く保存に耐ふ。

◎ミツワ家庭藥の種類
ミツワ健胃錠 ミツワ消化錠 ミツワ制酸錠 ミツワ緩下錠 ミツワ止瀉錠 ミツワ解凝錠 ミツワ驅蟲錠
ミツワ清涼劑 ミツワ解熱錠 ミツワ祛痰錠 ミツワ鎮咳錠 ミツワ結核錠 ミツワ人參錠 ミツワ寢方人參錠
ミツワ婦人藥 ミツワ婦人強壮藥 ミツワ鎮靜錠 ミツワ治痢藥 ミツワ瘰疾洗滌液 ミツワ點眼液 ミツワ鼻病液
ミツワ齒痛液 ミツワ含嗽錠 ミツワ凍瘡錠 ミツワ頭痛錠 ミツワ齒磨液 ミツワ養毛液 ミツワ腋臭藥
ミツワ撒布藥 ミツワ洗滌藥 ミツワ制瀉膏 ミツワ擦傷膏 ミツワ破痍膏 ミツワ凍瘡藥 ミツワ痔疾藥
萬一最寄に取次店なきときは本舖より直送す（郵券代用不苦）

◎ミツワ鎮靜錠 みつわ・ちんせいぢやう
腦及神經の疾患に鎮靜の効を與ふる
▼如斯人は◎ミツワ鎮靜錠を用ふべし▲
一、頭の重く痛む人 一、頭の內の不快する人 一、逆上せる人 一、眩暈する人 一、眠れぬ人
一、神經の過敏な人 一、心臓に病が無いのに心悸の亢ぶる人 一、感情の亢奮する人 一、些細の事を氣に病る人
一、記憶の不良い人 一、精神の鬱する人 一、神經衰弱の人 一、ヒステリーの人 一、癲癇の人
定價 百錠入 金壹圓貳拾錢
主要成分 サイミナール、ブロームナトリウム、ブロームアンモニウム、ブロームカリウム、纈草丁幾、龍腦、ホキス（詳細說明書記載）
適應症 頭痛、頭重、頭內鬱脹、逆上、眩暈、不眠、神經過敏、神經性心悸亢進、精神興奮、神經衰弱、ヒステリー、ヒポコンデリー、癲癇等。

◎ミツワ鼻病液 みつわ・はなのくすり
腦病の原因となる鼻病を治癒せしむる
▼如斯人は◎ミツワ鼻病液を用ふべし▲
一、鼻液の出過ぎる人 一、鼻腔のムヅ痒い人 一、鼻腔の痛む人 一、鼻腔の乾く人 一、鼻腔の塞る人
一、鼻腔の腫れる人 一、鼻腔の充血する人 一、鼻腔の臭い人 一、鼻で呼吸の出來ぬ人
一、嗅覺のわからぬ人 一、臭い鼻液の出る人 一、鼻血の出る人 一、鼻加答兒の人 一、臭鼻症の人
定價 一壜 金參拾錢
主要成分 鹽化アドレナリン、鹽酸コカイン、石炭酸、ペルサムメンダ水（詳細說明書記載）
適應症 鼻腔搔痒、鼻腔乾燥、鼻液過多、鼻閉塞、鼻粘膜潮紅、鼻充血、鼻加答兒、鼻出血、肥厚性鼻炎、閉鼻聲、嗅覺減退、鼻粘膜腫脹、臭鼻症、

◎ミツワ點眼液 みつわ・めぐすり
眼結膜の諸症に消炎鎮痛の効驗ある
▼如斯人は◎ミツワ點眼液を用ふべし▲
一、結膜の紅く腫れる人 一、涙液の多く出る人 一、目脂の多く出る人 一、羞明しい人
一、眼の熱い人 一、眼の痒い人 一、眼の痛い人 一、眼中のゴロ〱する人
一、結膜炎の人 一、流行目の人 一、血目の人 一、トラホームの人
定價 點眼器附一函 金拾五錢
主要成分 硫酸亞鉛、鹽化アムモニウム、枸櫞酸、カンフル（詳細說明書記載）
適應症 眼瞼浮腫、結膜充血、結膜腫脹、結膜發赤、涙液分泌亢進、羞明、眼瞼炎、眼異物感、急性結膜炎、トラホーム。

◎ミツワ驅蟲錠 みつわ・むしくだし
蛔蟲蟯蟲等腸內の寄生蟲を驅除すべき
▼如斯人は◎ミツワ驅蟲錠を用ふべし▲
一、惡心や嘔吐を催して― 一、腹痛がして―
一、頭痛や眩暈がして― 一、食餌が進み過ぎて―
一、食慾が減つて― 一、或は下痢し或は便秘して―
腸內に蛔蟲や蟯蟲の寄生して居る疑のある人
定價 二十五錠入 金貳拾錢 六十錠入 金四拾錢
主要成分 サントニン、カスカラサグラダ流動エキス、センナ葉末、甘草末（詳細說明書記載）
適應症 蛔蟲、蟯蟲、便秘等腸內に於ける寄生蟲を驅除せんとする場合、是等寄生蟲の寄生し居る疑ある場合。

◎ミツワ痔坐藥 みつわ・ぢのくすり
痔疾のあらゆる痔病に奏効確實なる
▼如斯人は◎ミツワ痔坐藥を用ふべし▲
一、疣痔の人 一、穴痔の人 一、裂痔の人 一、脫肛する人
一、肛門の痒い人 一、肛門の痛い人 一、肛門のはれつたい人 一、肛門の裂ける人
一、肛門からの血出る人 一、肛門の熱る人 一、肛門の內或は外に結節のある人
定價 六個 金四拾錢
主要成分 鹽酸コカイン、メンソール、イヒチオール（詳細說明書記載）
適應症 痔核、痔瘻、肛門裂瘡、脫肛、肛門內に疼痛ある場合、肛門部に搔痒感ある場合。

家庭治療法（小山田醫學士著）金五拾錢を郵券にて御送付あれば送呈す
振替東京七一〇 ミツワ石鹼發賣元 東京橋町 丸見屋商店

……の問題に就き英國下院内に於て首相に對し由々敷き反對起りたるが之に反し前首相アスキス氏再び聲望を集めつゝあり又勞働……唯一の顧問を設置するを可とせりと（倫敦電報）

# ウ將軍大會出席

ウッドロウ將軍は共和黨全國大會に列席すべしニュージャシー州……代表せらるべし東京電報
……を爲しなるが其の旨……台官は重要なる聲言を爲したるが其の内容は多分外務省より……

# 商況

## 株式

### 東京現株特電

十三日中値　▲騰貴△下落

| | 拂込 | 中値 | 前日比 |
|---|---|---|---|
| 帝肥 | 一〇〇 | 二九、〇〇〇 | |
| 同新 | 二五、〇〇 | 四四、〇〇〇 | |
| 朝銀 | 五〇、〇〇 | 缺 | △五八、〇〇〇 |

### 東京株式（至急電報）

| | 十三日前場寄付 | 前場比較 |
|---|---|---|
| 東株 | 一三〇、二〇 | 三〇安 |
| 同新 | 一三六、九〇 | 九〇高 |
| 日魯 | 一二四、〇〇 | 六、五〇安 |
| 二新 | 一一六、九〇 | 一、一〇安 |
| 一新 | 一一五、二〇 | 七〇安 |

### 大阪株式（至急電報）

| | 十三日前場寄付 | 十二日前場大引 |
|---|---|---|
| 大株 | 一三二、〇〇〇 | 一三九、九〇〇 |
| 同新 | 一二〇四、九〇〇 | 一二一五、〇〇〇 |
| 東株 | 一四八、〇〇〇 | 一五三、九〇〇 |
| 同新 | 六八、〇〇〇 | 七一、九〇〇 |
| 郵船 | 八九、九〇〇 | 八九、〇〇〇 |
| 同新 | …… | …… |
| 鐘紡 | 二七〇、〇〇〇 | …… |
| 同新 | 一二五二、九〇〇 | …… |
| 東新 | 一四一、〇〇〇 | 一四二、〇〇〇 |
| 堂米 | 一〇九、四〇〇 | 一一〇、〇〇〇 |
| 上米 | 一三二、〇〇〇 | …… |
| 上取 | 六〇、〇〇〇 | 六七、五〇〇 |

### 京城現株　標準値段

| | 拂込額 | ▲騰貴△下落 値段 |
|---|---|---|
| 仁取 | 四〇、〇〇 | 二八、〇〇〇 |
| 京株 | 三二、五〇 | ▲三五、〇〇〇 |
| 安信 | 三一、五〇 | 一九、〇〇〇 |
| 鮮銀 | 一〇〇、〇〇 | 一八、〇〇〇 |
| 同新 | 二九、〇〇 | 五一、〇〇〇 |
| 殖銀 | 五〇、〇〇 | 六一、〇〇〇 |
| 森鐵 | 五〇、〇〇 | 四、五〇〇 |
| 東拓 | 五〇、〇〇 | 六〇、〇〇〇 |
| 同新 | 三一、五〇 | 二三、〇〇〇 |
| 朝土 | 三一、五〇 | 一五、〇〇〇 |
| 大土 | 三一、五〇 | 一〇、〇〇〇 |
| 東亞 | 二〇、〇〇 | 三〇、五〇〇 |
| 朝紡 | 三一、五〇 | 二一、〇〇〇 |
| 朝毛 | 三一、五〇 | 二五、〇〇〇 |
| 朝糖 | 二五、〇〇 | 二八、〇〇〇 |
| 電興 | 二五、〇〇 | 二四、〇〇〇 |
| 皮革 | 二〇、〇〇 | 一八、〇〇〇 |
| 朝畜 | 二二、五〇 | 二三、〇〇〇 |
| 朝釀 | 二二、五〇 | 一〇、〇〇〇 |

### 東京先物別報

（十三日前場）郵船一四四、九〇▲同新六五、〇〇▲東汽四六、〇〇▲商船八二、九〇▲鐘紡二六七、九〇▲日清紡九七、〇〇▲東京毛織九六、〇〇（近藤商店入電）

### 東京現株氣配

今朝の現物氣配は東株二百十圓郵船百四十二圓新六十八圓を示し後氣配益々悪化し湖鐵五四五十錢安船株十二圓安見當なりと（十三日　松入電）

### 形勢更に悪化

總選擧豫明の當日を以て株式は再度の崩落を起し來れり市場は利喰の外買物なきに對し嫌氣の投物嵩みて諸株引續き崩落特に綿糸市場の悪化は益々此趨勢を大ならしめ延いて地方株式より之れを抱擁せる銀行に累を及ぼさんとし折角安定を得んとしたる財界は再度の危險狀態を示さんとの狀勢となり即ち昨開始寄りつき節郵の相場は案外手堅きを告げたるも綿糸の暴落を呈し氣配甚だ惡化したる氣先を受けて今朝は引續き賣氣引立たず剛直の投げと手詰め賣り現はれたる爲めに市場も之れに連れて不勢を示し就中紡績株に至りては顯著なるものもあり其他の雜株も之れが影響を受けたるは是非無き次第にてかくて目先相場は底入近からんと思惟されつゝあるも値頃の關係より漫然たる買を許さず綿糸の形勢も最早極度に接近し居るの時なれば此際買り込めば相當の反撥あるべきかと（十一日大阪）

### 上取株減切安

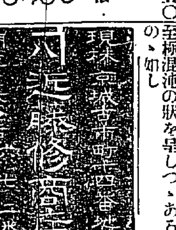
上取は上海筋の賣株漸く出廻り最近更に一萬七千枚の賣株を提供せられたる由なるが賣株の大多數は島系伊藤久太郎名義なるより何社筋の賣るは内部に面白からざる事情存するならざるかを想はしめ氣配を損せる振合ひあるが十二圓五十錢拂込の連取株六十二三圓なるに對此するも二十五圓拂込の上取が六十圓台は此上大なる下餘地ありとは想はれざるべし

### 京株猫眼商狀

京株は昨朝三十四圓の手合ありし以來此邊再び眼先師筋より賣募はるゝに至り午后忽ち五圓と縮りたるが素より單なる眼先の思惑にて買はれたるものとて五七十錢の利喰りを見れば忽ち又賣拔けんとする振合あるより目立ちたる活躍は期待し難き爲あり昨今一日數回三五十錢方の上下を云爲されて殆んど猫眼的商狀をなし居れり

### 總選擧と株式

無論我黨内閣の下なれば政友會の多數を占むるは疑ひなければとも果して高橋蔵相が如何なる財界振興策をなし能ふべきか現に日銀の貸出増加の如き救濟の一策と見られざるに非ざるも其効果を見離き成行にあり假令小口落増資の有望説に類勢を喰ひ止め得るとするも斯くの如き貧弱なる材料にては主力株の活躍を期待すること困難なるべく蓋つて總選擧の結果株式が引返しを示す處あらば其處は又賣らるゝに至らんと



### 大株增資不利

大株增資は既定の事實として數へらるゝに至れるも未だ其程度等は不明なるが已に斯る形勢となりし以上假りに増資出現するものとするも採算上より見てあまり香んばしき買物にあらずして前途の見越しも極めて不透明なる折柄とて此際は買ふよりは戻りを待つて大に賣浴びせんとする傾向顯著なるもの如く兎に角增資問題に對する人氣は至極混沌の狀を呈しつゝあるものゝ如し

池尾株式店
京城黄金町三丁目
電車停留所前
電話一二六六番・二〇八六七番・一五〇五番

### 紡株續て慘落

綿糸市場好況の爲紡績株の樂觀せられたる程度甚だしかりしが三品市場は底知らずの大瓦落を演出し爲めに紡株は買付かれ居りたる丈け其反動甚大にして十一日も引續き慘落を見たるが從來の諸株觀が一變せられたりとせば鐘紡の如き更に大株の直頭

### 公債株式現物問屋

西村商會
京城若草町百六地番
長電話三〇〇番・二二六三番

### 京城現株市況

附近迄下落せざれば止まざるべしと唱へられ居るも現在の狀況にては海外の綿況が好況を呈せる爲め綿絲の強氣觀を抱くもの多く隨つて容易に大株との鞘は寄せ得ざるべきかと
當地市況は昨午后内地の形勢再び悪化を入れて見送り狀態を呈したるが京株は三十四五圓處を頭重く引けし折柄三十一圓處に保合ひたり尚ほ朝日釀造は手合なきも今期無配當に内定せる由にて氣配は拂込を蹴込み十圓内外を唱へられたり昨午后より今朝に亘る手合平均値左の如し
上海取引 六九、〇〇〇
鮮銀新 五一、〇〇〇　一
殖銀新 二一、〇〇〇　六一
京城現株 三五、〇〇〇　三五、三八〇〇〇

◎鮮銀券日報　五月十二日の現在左の如し
發行高 一二〇二、四九二、〇〇〇
正貨準備 九一一六、六二八、〇〇〇
限外發行 一六五、八六四、〇〇〇
貸出高 七二一、三三〇、〇〇〇

◎日銀帳尻　五月十二日現在左の如し
發行高 一二八、七三三、一二八
正貨準備 四七、五六九、六二一
限外發行 二一、一六三、五一一七

◎京阪金利　五月十二日の現在左の如し
| | 東京 | 大阪 |
|---|---|---|
| コール無條件 | 二、〇〇 | 一、〇〇 |
| 翌日物 | 一、〇〇 | …… |
| 六十日物 | 三、〇 | 二、九五 |
| 普通割引 | 〇、〇 | 二、八〇 |

### 北濱だより

▲呉服屋の投げ賣りを應用して居ると云ふ者もあるが聞けばアレでも呉服屋連は少しも損をしていないとあるから今日迄の暴利方の程も察せられ候▲先年の米騷動後には下級國民の救濟云々の議が盛んになたが今日ではその資本家連が二言目には乞食のやうに救濟を云々するから妙に候▲丁度澤山の貯金を殘して行き倒れる乞食が良くあるが今日の資本家級の心臟は之によく似たものだと存じられ候▲懐に融通して貰ふそうに候一つ大阪市政にも政府に直轄して貰ってはと如何に候やに候何でも彼でも政府に縋らねは埒のあかぬ當世骨のある中流以下の國民の奮起の秋に候

## 米況

### 東京期米特電

○十三日前場
當限寄付 四十三圓十三錢
同止め 四十三圓二十一錢
中限寄付 四十二圓七十錢
同止め 四十二圓六十六錢
先限（後場）十三日前場 四一、八〇

### 大阪期米特電

○十三日後場
當限寄付 四十三圓三十九錢
中限寄付 四十二圓九十九錢
先限寄付 四十二圓二十錢
安値 四一、九五
止め

### 神戸期米特電

○十三日前場
當限寄付 四十一圓九十九錢
同止め 四十二圓十錢
中限寄付 四十一圓丁度
同止め 四十一圓三十錢
同後場 十三日前場 四〇、七八 四〇、二〇 四〇、五九 四〇、二〇

○十三日後場
當限寄付 四十二圓二十九錢
中限寄付 四十一圓六十一錢
先限寄付 四十一圓十九錢

### 下關期米特電

十三日前場 晴、大阪跡高刺戟
當限 十三日前場 四一、一四
中限 四一、六九

### 釜山正米特電

當限 中限 先限
四〇、九五 四〇、四五 四〇、〇四

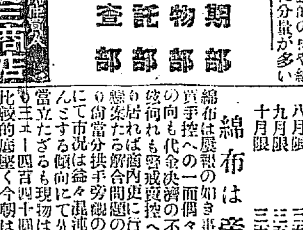
十六錢と返して引
▲第五節　當四十一圓五十錢○カ買に始め中⊖買に一圓二十二錢と寄付先⊕買に五十錢と手堅く始しも三引⊕囚買に五十五錢と押し六十三錢と返して大引せり

### 當限の前途觀

頃日來騰報せし當限の問題も其後二萬二千餘石の建玉に付ては略ぼ激動なく相場も四十二圓より五六十錢の間を固持して亞か されは硬軟の意見何れも鮮明の點ありと雖も今朝賣店たる力より二千石の買手を振りし一事より推測すれば渡米不足による踏退きの端緒ならずやを思はしめ且つ市場一角の噂さによれば軟派は當限を踏退き其身代りとして先限に兩建賈を爲せりと迄傳へられつゝあり兎に角在米は逐日減退を示し殊に内地迄文を受けたる某正米筋にては今回四五千石の移出を爲す由にて軟派に對する悲觀の念は益々深く此際硬派にて受米敢行の暁ならば來らんとする月末戰は期近かの前れ上げを策戰に各期を通じ豫想以外の一大展開を見るやも知れず

### 依然眼先掬ひ

新甫發會以來此の四十二圓と云ふ大關門を中心として三百丁餘の騰落を繰返し硬軟双方の氣を迷はしめつゝある七限戰の前途は結局如何なる趨勢を辿る可きか買方には財界事情と云ふ脅威に喰ひ入られ自然買氣振はれ一方みか種々なる不勢材料が集り角氣に反し極めて軟派には正米事情と云ふ買り餘地無き材料によつて好轉安心買を許さゞる者の如く結局何れも眞の強弱を捨て其の場付きに連れて賣買を行はんとする向多く自然相場も保合ひを脱するは能はざる現況なるが併し今朝釜山群山大郎方面の正米筋が朝々自邑の在米減と持米を賣放ちし關係より身代りに賣進み來るは事實にして今回の選擧問題よりも財界の前途が盛返す者……





### 市場雜觀

世の中が斯ふなつて來ると金融者が商人を殺して居ちのか亦は商人が調子に乗り過ぎたと云ふものか狭まい仁川にも株や綿糸の爲めに打撃を蒙り弗々整理を行ふて居る向があると云ふ安心だから市場に集る人氣が自然軟は呉服物や正盥も分らぬ株安なとは所謂花を咲かせて米の如きもは兎も角整却せられてこい舊き中があるが▲併し之れをして事實に違いはないも今の處之れ迄の相場が自發的の株に崩れた糸安の人氣に崩れた分量が多い

### 仁川正米市場

在米の漸減に連れ手持筋買惜みの念益々深く一方京城方面よりは小口ながら依然として買物あり三等合格上立四十三圓七八十錢處に取引行はれ並物は四十三圓より四十錢見當を唱へ前日に比し二三十錢高の姿なり

### 大阪三品特電

○十三日前場
五月限 三一三、五〇
六月限 三二五、六〇〇
七月限 三四〇、九〇〇
八月限 三五〇、〇〇〇
九月限 三五六、〇〇〇
十月限 三五九、九〇〇

### 綿布は旁觀

綿布は慶報の如き事情にて極力賣手控への一面俄々手放し望みの向きも代金決濟の不安懸念より何れも堅戒賣控への方針を取り居れるは當商内更に行はれずして當たる解合問題の成行きを見るは當分拱手旁觀の外なき模樣

### 麥粉弱持合

麥粉は其後特別變らず朝鮮及び六三四十三三十三四十錢三十十十錢以上物は五圓三圓四十錢處にて下足を喰ひ居れる爲め金融の梗塞の折柄内需大次第に惡化の傾きあり

### 砂糖無氣力

歐米の外糖買附又は爪哇糖の騰勢を輸入せば其反響は本邦財界の動搖に殊に敏感なるも金融上の投物と出でんかの傾向にて一時四十錢處を保

### 仁川期米

十三日前場（保合平）

今朝天候西南の風に晴天各地入電未着なるも前日阪地安の割りに下迄り氣味のありし折柄引跡阪地の手堅きと今朝の氣配強含みに當中出來ざるが中四十圓七十錢と同事に寄付き六十八錢と下辿りせしも宛の買物に⊕⊖⊙圓人五〇カ圓⊕の買物も消化して九十二錢と漸騰を辿りて引
▲第二節　當力の買ひに四十二圓五十錢より七十錢と二千石の商内行はれしかば中出來ざるも先七十五錢と寄付九十六錢と買氣を刺戟せしも○カの賣物に買氣を阻止して引際七十錢と落し頭重く引
▲第三節　當中出來ず先⑦力の買聲に七十錢より八十錢と擦けし折柄三引⊕宛より賣物現はれ七十錢と押し結局七十一錢と節直を定めて引
▲第四節　大阪四節四十圓五十九錢の安移りに當中出來ず先一節の寄高進みの小口嫌氣投げにより六十九錢よりヂリ〳〵安の四十九錢と下辿りし機先東京高を早耳せる番筋の買進みに五

十二日
| | |
|---|---|
| 後場寄付 | 四〇、九〇 |
| 高値 | 四〇、七〇 |
| 安値 | 四一、〇〇 |

公定段值
| 寄付 | 四〇、〇二 |
| 前場 | 四〇、五九 |

十三日前場
| 寄付 | 四〇、八〇 |
| 高値 | 四〇、六九 |
| 安値 | 四〇、〇六 |

▲平均値段
| 一節 | 四〇、九三 |
| 二節 | 四〇、七〇 |
| 三節 | 四〇、七九 |
| 四節 | 四〇、六六 |
| 五節 | 四〇、九六 |

延入値段
當限 一二〇
中限 二五
先限 六二

現在組高
先限 二萬八千石
當限 四萬八百石
中限 四萬三千七百石
出來高 二十四萬三千七百石

### 後場反騰す

前場阪地の一高一低に氣迷ひとなりし場面も引跡大阪前止め四十一圓二十錢の上放れ移りに後場は又復買氣を刺戟して當出來ず中四十一圓八十錢と騰發せしかば先限も四十一圓

## 三十錢と六十七丁の上放れに寄付

買聲により更に五十錢と躍騰せしも跡賈物を狙ふ賣物續かざるのみか戻り落され⊕⊙山布力⊕金買に二十錢と蹴返し二十五六錢を揉合ひ結局九錢と手堅く引
▲第二節　當出來ず中八十五錢と手堅く先二十九錢より八錢と弛らみ⊖買に⊖力⊕の突進買を添へし機先更に三十加はへたれは人氣忽ち沸騰して四十五錢と躍騰し四十錢と强硬に引

### 粟は新麥構へ

粟は愈々市況沈衰の極に達し誰一人手を染めんとする向きもなくなる外相變らず新規手合せ行は今朝は四平街二車の解商内あれど殊に新麥の出廻り期を眼前に控へ居れるだけ今後一層賣需の不振を免かれ難き事情あるなど配慮いて安歩調を辿り今朝は浦城現物十九圓二十錢前後を唱へられしも此邊尚ほ室入なくたりとて安値は持主手放し兼ぬるといふ振合ひにて結局買ら寄はずの狀態なれば又那邊が眞の相當なるか確かならず

### 京城正米市場

相場の漸騰へ精米所の品薄に連れ昨今西鮮地方京畿道及仁川方面より小口ながらも申々廻米を見つゝあり尚ほ何分品薄の品ガスレに瀕せるを今日なれば殆ど焼石に水の有樣にて地場精米筋の大部分は相變らず其日〳〵の原料に追はれつゝあるが如く目下南方は商談を進め居れりと雖も諸山合格十四圓五十錢鳥山物四十二圓以上を報じ各地を通じ買物漸と高値明への爲め意の如く商談纏ばず自然地場氣配も高まりて今朝は中留上立は四四圓處にて商賈躊躇さいふ成行きにて昨日來更に約三十錢方を引締めたり

相場の推移　群山大郎の正米師が朝々持米を賣放ちし……持米も無い爲にヤョウ〳〵と云ふ釜山鮮米の前途を見透して米の……定期ちゃ此の邊を試みんとする釜山最後の決戰……群山大郎の鑑査連が不理か井は今後の事實に徴するの外はない

### 群山正米特電

六月中米は前日より約三十錢高の四十三圓十五錢にて現物は四十三圓六十錢と持合ひたり（十三日）

### 釜山正米特電

内地期米小戻しとあつて見込付かず氣迷ひの折柄關東より今朝の寄附強保合を入れ市況案外挽回に出し殺良四十四圓八九十錢ならも賣方の手加減の爲上品賣物なきと賣方の弱腰の爲結局四十四圓六七十錢三等神力四十三圓七八十錢所にて六千叺ばかりの商内出來せり大豆は釜安東物二十五圓六十五錢大邱物二十二圓二十錢所にて薄商内出來せり（十三日）

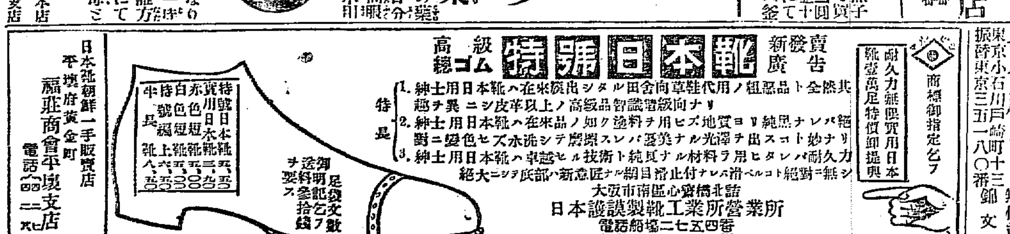
### 仁川米豆取引所仲買人

坂倉仲買店
電話六五〇番・三五番

仁川米豆取引所仲買人　坂倉仲買店　……有價證券現物賣買……

### 煎子氣配強調

今朝海産市場に現はれたる煎子は目濟島物多く氣配軟調にて賣入多く（鰯細の上物）四十二圓中翌十錢大羽物並二三圓六十錢並十五圓二十錢大羽物並十圓所にて百廿圓はかりの商内出來せり（釜山電報）

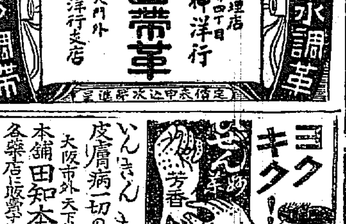




七十種パン
注文あれば代金引換にて送呈
▲本書購讀者には至急御送本
東京小石川戸崎町十三番
振替東京三五一八〇番
鈴文堂
原價代料無料進呈見本

### 製造新法

和洋菓子
米が高くも心配いらぬ
道具不用輕便
食パン
本書は物價騰貴生活難の求濟的食物として新たに説かれたもので手輕に出來て米より費用少なく少量にても滋養に富みパンに勝る保存品を食すれば一週間でも至極丈夫に一度も頭痛がない……



## 演藝案內

### 黄金館
黄金町
電話一二六三七
天然色活動寫眞株式會社一手特約代理店
◎十四日より新寫眞提供
△實寫　チェルトの風景　ボークスの肥豚
▲新派劇 木枯おむら　全四卷
▲活劇 鐵の手袋　第十一第十二篇
武士道を爭ひ又は俠客と爭ひ場面の變轉につれ痛快なおむらの活躍　幾多冒險手段をなす名探偵ジャック運命の神は何方に
▲新派悲劇 南山血染の旗　全五卷
南山の激戰に悲壯な死と生の重傷を負ひながら不死身な大和男子の本領は實に血沸き肉躍る戰爭大活劇は第一卷より五卷まで世名の彈奏と共に映寫す

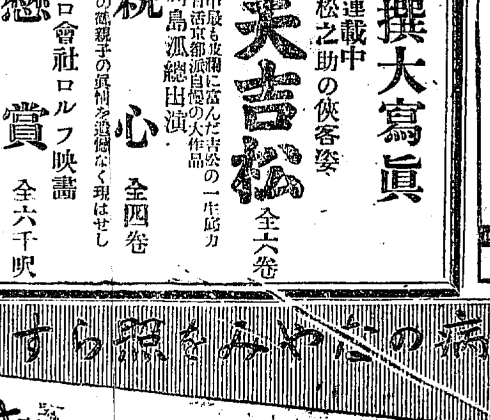
### 喜樂館
本町一丁目
電話九七番　館主
◎五月十四日より封切き……
一日十五日日曜祭日は晝夜二回開館
提供　○實寫『玉川の鮎漁』○滑稽『……』全五卷○日活京都派喜劇……
▲活劇 關東七人男　四千呎
今年若き頃名乗りに武州川越の赤尾林から大富豪縄わたれ笠之出し夢で俠客七人男の大活躍は火の出る樣な痛快劇
▲人情劇 魔の囁き　四千呎
暗示それは何んであつたか？彼に與へられたる暗示は彼の命を何處へ導いて行くであらうか如何に日活向島派の作品……

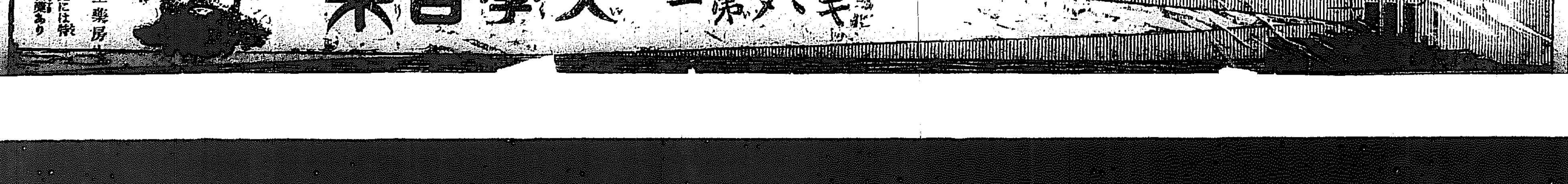
### 大正館
櫻井町
電話八七三
日本活動寫眞會社代理店
◎當る五月十四日より三大映畫提供
◎實寫『故九代目市川團十郎銅像除幕式』○ニコ〳〵劇『寢坊な新士』
長尺○日活會社向島派出演
新派悲劇『親心』全四卷
旅芸の雛子夜の鶴親子の眞情なる遺憾なく現代の大悲劇
米國メトロ會社ロルフ映畫
人情喜劇『懸賞』全六千呎
名優エミリー、ステヴェンス孃ラ、イスタ、ゲャーム、パース氏代出演
京城日報連載中
清々しい松之助の俠客姿
俠客奇譚　祐天吉松　全六卷
幾多の俠客傳中最も波瀾に富んだ吉松の一生此一篇は日活京都派自慢の大作品
毎月一日十五日日曜祭日晝夜

### 浪花館
明治町
電話二六〇番
◉浪花界青年團　競演會
◉落語　宗々　中　一
◉義太夫　宗々　……
◉樂　……
○入場料金參拾錢均一
定日は內地引上お名殘り御覽に

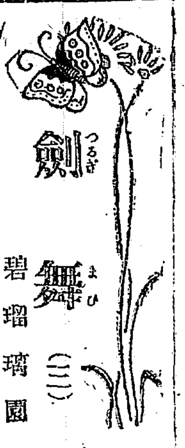
### 壽館
本町七丁目
電話八五
初日　五月拾三日午後六時開場
東京新派 新生劇 第一回
第一日 ……
第二日 ……
……（小説）……

漁網用綿系總絲
配繩用再撚糸
綿系ロープ
其他各種撚糸製造販賣
大阪府東成郡平野郷町
丸喜撚系製造所





汽車發着



# 剣舞(三)

碧瑠璃園　挿畫　森田ひさし

## 嫁菜菊(三)

欣作は三十の働き盛りであつた、引き締つた身體に男の力が十分見われた、玄關の上り口に腰掛けて、靴の紐を解きながら

『お母さんは』と訊いた、彼は歸るとすぐ母の在否を尋ねるのが例であつた、それは母の身を案じるよりも、母の居ると居ないのとが、自分の現在に影響する點が多い關係からであつた

『只今何方かへお出掛けになりました』

母が家に居ないと聞くと、彼の眉根に晴々とした光りがさす、お孝は我が子にまで夫ほご

をして居るのが一等氣に障るらしく見わる、さりとて夫婦の間を兎や角と云ふことは爲さぬので、他の事に當り散らす、夫婦が話をして居る處でも見ると、急に機嫌を惡くして、三日も四日も口を利かぬことが屡次ある、菊枝はそれが辛いので、成るべく欣作と遠ざかるやうにする、欣作も母の心をよく知つて、お孝が家に居る時は、決して菊枝と口を利かない、他人でも斯うは爲きまいと思ふほど冷たくする

夫婦が餘所々々しくして居れば、お孝は何時も機嫌が好かつた、それが一月二月の間は

歡ばれて居なかつた

菊枝は欣作の平生衣を持つて居た、淋しみのある美しい姿が、谷間の初夏を彩る白百合のやうに、電燈の下に浮き出した、欣作は洋服の釦を外す間から菊枝の顔をちよい〳〵見て

『今日の入出には驚いた、電車はまるで戰爭場だね』と機嫌のよい聲で云つた

『さぞお困りでございましたでせう』

『まあ命懸けだね、それでも無事に歸れたのが不思議な位さ』

欣作は長火鉢の前に坐つて、菊枝の入れた煎花を飲んだ

菊枝は懐妊六月であつた、二十二の春嫁入つてから足掛四年の間、むつかしい姑の機嫌氣褄を取るのに痩せて、顔にも、眼にも、元氣が無い、何をしても姑の氣に入らぬ事が多い中に、取り分け欣作と間好く談話

ではない、足掛四年の長の間、少しの温みもない家庭の中に、姑の叱責を受けながら過ぎて來た菊枝の境界を思ふたび、欣作は心で泣いた

『わたしが出戻りでさへ無かつたら』と菊枝は鏡に映る自分の姿を見て云つた、彼女は十九の時親戚の何がしへ縁付いたが、不幸にも翌年良人に死に別れて、泣く〳〵實家へ歸つて來た、代々の吊り合ぬ前川家へ嫁いだは、近い過去にさうした瑕を持つからであつた、彼女の實家は島の内に名を知られた舊家で、可なりの身代を持つて居た、男の同胞が無くて、姉に迎へた養子が世を取つて居る事も、彼女の忍耐を强うする原であつた

『わたし、何うしませう、後の月に帶をしなければ爲りませんのが、まだ其のまゝになつて居ります』

菊枝は沈んだ聲で云つた、懐妊の事實がお孝へ知れたら、ごんなにか機嫌が惡くなるだらうと思ふと、初産の芽出度さを吹聽する勇氣さへ無かつた

『もうそろ〳〵産婆を頼まなければ可けないぢやないか』

『はゝ、ですけれども』

斯う云つて見上た菊枝の目に涙が滲んだ

『それに帶をしなくちや可けないね、いつそ實家のお母さんにお頼みしちや何うだらうかね』

『でも、其様事を致しては、お母さま、ごんなにお腹立だか知れやしませんわ』

『然し、他の事とは違ふ、打捨つては置かれない、折を見てわしから話さう』

『それも何ですから、わたし一層—』

菊枝が袖を顔に當て、忍び泣きに泣入るとき、表の格子戸がからりと開いた

『誰が……誰が彼岸參りなんぞするものか、要らぬおせッかいなんぞ云はないで貰ひませう』

誰に云ふともなく叱言して、お孝は玄關から上つて來た


人參王

津村兄弟商會　電話一四八〇番〜八七〇〇番


## 新刊紹介

▲かち鳥（第一集）立派なる程なものだ、それは便箋正明歟不位の純粋たるもので朝鮮から發行する此の種の雜誌さしては奇蹟さして歡迎するに値する、勿論内容の充實した點に於ても發企者井、大塚、高野三氏の勞を多さしなければならない兎に角詠み人百三十人千六百餘首の結唱だからそれだけでも讀者を魅するに足るものである（非賣品京城府本町二丁目六七青鳥社）

▲大觀（五月）『思想界の巨人バアトランド、ラツセルの思想批判』は桑木博士、猪尾正五郎、阿部教授、長谷川如是閑諸氏の論究せるもの『戰後再建時代の勞働組織』當世興味ある『選擧干渉の手心』等時評論興味津々・創作と評論には片上、長田、小川谷崎、日夏諸氏が各々其の特色を發揮し熱さ力に充ちてゐる（五十錢東京々橋實業の日本社）

▲婦人の友（婦人要求號）・婦人の要求（山宅博士）離婚と法律（穗積博士）は必讀の大文字であり羽仁もと子女史の讀者の告白に對する評言亦見脱すべからざるもの。閨の花（秋岡）紫の上（正雄）青い鳥（雨雀）等の創作相映發するところ正に之れ錦上の花さすべき乎（四十錢東京府下雑司谷其社）

## 指導の新台

▲一府内明治町の秀葉（三五）は年にも似ず八歳を頭に三人の子供のある身に拘らず貞節な女房に離解付けて追つぼり出し人もあらうに新町は清月さかの女郎なし近所隣りの憚かりもなく逆夜の別電話呼板までも賣り飛ばして身受けなく商賣は其方のけにデレ付き廻り鼻んに鼻の下を延して居る處が可哀想なのは三人の子供日夜母戀しの念に一日とて樂しい日はなく後妻の目を彷んで小さな胸を痛めて居る、然るに後妻の繼子扱ひ何に彼に付け邪慳い苛折檻生傷のたへた事なく近頃はメッキリ瘠せ衰ろへ他處の見る目も不愍たさは近所の噂ばかりではない（同情者）

▲私は竹久夢二さんは今何處にお出でになるか知りたいのでありますがごなたか御存じの方は御知らせを願ひます

▲獨身生様よ私事は洗張や縫ものがすきですが只今は丁度時季なのですのに割にひまでございますからごこかに御洗濯に出かけませうかと存じてなりました子供も居らずひまですから親切でいねいにいたします當方の所は紙上に申し上かねますから私方から御訪れ申しますゞうぞ御住所か又は御分りやすい所をしらせて下さい（幸女）

▲九日の闘者の領分・洗濯や縫迫しをする人が日の出町及び同附近に在れば住所を知らせてあり一寸住所明記に不都合故貴君様の電話あれば電話番號を本欄まで御知せあれ電話にて住所を御知せ申し上ます（待入生）

▲和歌俳句の師何處か御存じの方は有りませんか誠に御手數ですが御存じならば當欄まで御通知下さい（つや子）

▲先日讀者領分に記載したる二十五歳の女の友人君よ僕の友人に本年二十六になる者あり御相談の上貰い受致したいがお差支なくば御住所を紙上にて御知せ下さいませ但し友人は官吏でも商人でも無く建築家の人なり（不町男）

▲働き女　生よ洗張り造物御願致したきが住所不明に付不都合何卒御知せ下され度爲願申し上ます（想望生）

▲庭球コート支柱用金具一揃御入用の方に原價（六圓）にて御讓り申すべし（京日運動部）

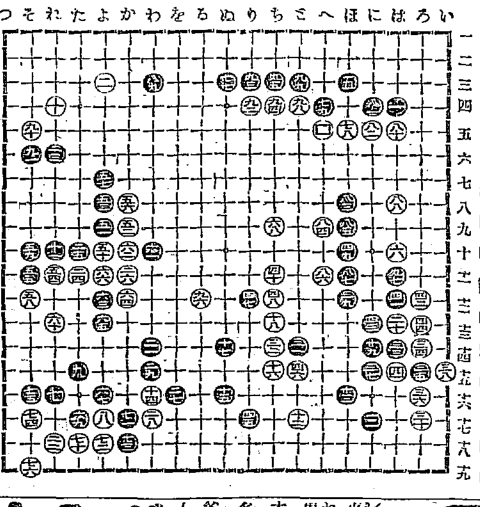
## 東京六華會　敗退棋局

（第四回の七）

青年棋客

先番　田岡秀子（二段）
互先　瀬尾浩（初段）

（田岡氏一局勝二局目）



八六　へ十一
八七　ほ十一
八八　は八
八九　わ三
九〇　そ五
九一　そ六
九二　り四
九三　り三
九四　ち四
九五　ち三
九六　る十二
九七　は十一
九八　さ四
九九　さ三
一〇〇　へ五


見よ！見よ！！

毛布　半價發賣

戰爭終結するも物價下落せず毛布又今尚騰貴方面へ多少の輸出を易くなす實情にあり此の東京日本橋區本石町一丁目毛布纖維物問屋谷商店が非常の決心にて特別製品一號毛布を只一の一九十錢二等一號毛布を只の五十三圓十錢と云ふ破天荒の廉價販賣は他店も非常の毛布は其の品質に於て他店品の如く安くなれば但し一萬枚限りより以上は賣切れ次第申込み方は直ちに左記内郵便振替を以て申込むべし

月やく

ごまり不順でお心配の方へ

月やくごまり不順のため食物まづくむかつき逆上頭痛めまひして下腹痛み何ごなく身體の工合悪く色々他の藥を用ひても効なくお心配のお方はお出きなさい何んの障害もなく妙に流經する良く効く月經の專門藥のりお出での出來ぬ方は返信料を添て申込みあればお知らせす

東京市四谷信濃町電車停留場前　專門藥本舖　森田屋本店

大阪市日本橋二丁目　西日發賣所　森田屋支店

名古屋市大津町　中京發賣所　小松屋支店

釜山辨天町　代理店　藤田藥舖

ちんそう炎

チンソウ炎に特効の良藥あり病の方は説明書無代進呈

播州明石樽屋町　天臨堂

京城永樂町二丁目（商品陳列館裏門通）

入院隨意

酒井婦人病院

電話一八〇〇番　一六〇〇番

酒井一郎

かぜ　ねつ

かぜを治しねつを解くには八カ印のヘブリン丸に限る……

八カ印のヘブリン丸が速かにねつを解きかぜを治すことは滿天下の實地經驗で明白である……

定價十錢以上　家庭用五十錢、一圓

大阪　合資會社　天　堂

信用ある三金の靴

れは一般官用紳士靴として好適品なりを技術と以て最も入念に製造せし品な

從來の店舗一般として標準的精選せる材料と熟練な

ボックス革編上靴　第一號金十五圓五十錢　第二號金十六圓五十錢　第三號金十七圓五十錢　第四號金十八圓五十錢　第五號金十九圓五十錢

ボックス革化粧靴　第一號金十五圓五十錢　第二號金十六圓五十錢　第三號金十七圓五十錢　第四號金十八圓五十錢　第五號金十九圓五十錢

ボックス深ゴム靴　第一號金十六圓五十錢　第二號金十七圓五十錢　第三號金十八圓五十錢　第四號金十九圓五十錢　第五號金二十圓五十錢

御注文　節の靴は種類と足袋の文數御知らせ下さいは代金引換小包送料御負擔にて御送付申上候

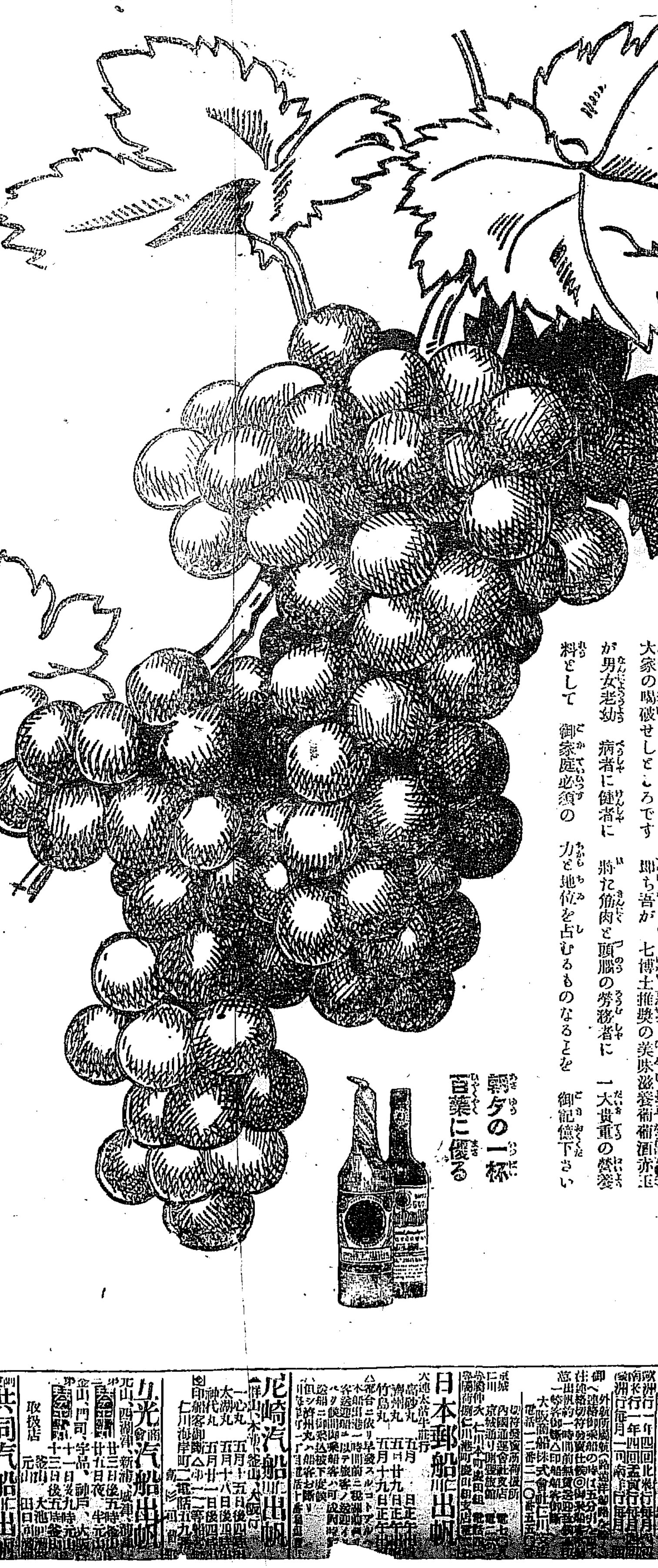
卸　御希望の方は特別割引便宜御相談に應じ可申候

目錄寸法用紙要二錢

東京市芝區愛宕下町

三金高等靴店

電話芝六九〇番・振替東京一七一一三番



赤玉ポートワイン

『葡萄酒は瘦肥いづれの人にとりても最も効果ある營養料なり』とは佛國醫大家の喝破せしところです　即ち吾が七博士推奬の美味滋養葡萄酒赤玉が男女老幼　病者に健者に　將た筋肉と頭腦の勞務者に　一大貴重の營養料として　御家庭必須の　力と地位を占むるものなることを　御記憶下さい

朝夕の一杯　百藥に優る



大阪商船出帆　仁川出帆

釜山木浦大阪行　清州丸　五月十四日後四時
天智丸　五月十八日後四時
木浦山大阪行　濟州丸　五月廿四日後四時
信濃丸　五月三十日後四時
天智丸

元山出帆
西湖津、新浦、城津、雄基行　宮島丸　五月十五日後九時
釜山門司宇品神戸大阪行　安平丸　五月十三日後十一時

大連出帆

上海・芝罘・打狗行　湖北丸　五月廿四日正午

内地各港出帆

歐洲行　一年四回
南米行　一年四回
濠洲行　毎月一回

大阪商船株式會社仁川支店　電話二〇五番

日本郵船仁川出帆

大連・青島直行　高砂丸　五月廿九日正午
濟州丸
竹島丸　五月十九日正午

尼崎汽船出帆

一心丸　太湖丸　五月十五日後四時
神代丸　五月廿一日後四時

力光汽船出帆

元山、西湖津、新浦、城津、雄基行

共同汽船仁川出帆

大連直行　金澤丸　五月　日正午

▲青島直行　第二共同丸　五月十四日後六時

朝鮮郵船定期

元山出帆

仁川出帆

木浦出帆

朝鮮郵船株式會社